資料編

アンケート調査の概要

●目的

本調査では、区民の皆さんが環境について日ごろ感じていることや、日常生活の中での環境保全行動の取組状況、区の環境施策に対するご意見などをうかがい、これまでの環境施策の効果をはかり、今後の取組に役立てていくことを目的としています。

また、毎年アンケート調査を実施することで、区民の皆さんの意識変化を捉え、「目黒区環境基本計画」の改定や事業展開などの基礎・参考資料としていきます。

●調査項目

（１）現在お住まいの身近な環境について　　（問１～問 6）
（２）環境にやさしい行動の取組状況について（問 7～問１２）
（３）目黒区で行っている環境保全活動について（問１３～問１９）

●対象者

区内に居住する満１８歳以上の区民２,０００人を住民基本台帳から無作為抽出

●調査方法

無記名回答式、郵送調査法（アンケート調査票を郵送にて配付及び回収）

●調査期間

２０１８（平成３０）年６月１日（金）～２０１８（平成３０）年６月２０日（水）

●回収結果

発送数	不着数[1)]	回収数	有効回答数[2)]	有効回答率[3)]
2,000	４３	５４１	５３９	２７.５

１）宛先不明により返送された調査票を示します。
２）回収調査票のうち、自由記述を除き、属性に関する設問に１問以上回答し、かつ自由記述及び属性を除いた設問に対して、１問以上回答している場合を有効回答としました。
３）有効回答数 ÷（発送数 － 不着数）× １００

●その他

（１）「n」は有効回答数を表し、グラフは「n」をもととした百分率（%）で示します。
（２）百分率（%）の表示は、小数第２位を四捨五入しているため、比率の合計が１００%にならない場合があります。
（３）複数回答の設問では【複数回答】と表記しており、比率の合計が１００%を超える場合があります。
（４）図表中の選択肢の表記について、語句などを一部簡略化している場合があります。

標本誤差について

標本調査を行ったため、調査結果には統計上の誤差（標本誤差）が生じることがあります。本調査のように無作為抽出を用いた場合の標本誤差は、信頼度を９５％にした場合、次の計算式によって求められます。

$$標本誤差＝±２×\sqrt{\frac{N-n}{N-1}×\frac{p（1-p）}{n}}$$ （N:母集団数、n:サンプル数（有効回答数）、p:回答比率）

※母集団数（平成３０年５月１日現在の目黒区の１８歳以上の人口）は２４２,９１７人

今回の調査結果の標本誤差は以下のとおりです。

n ＼ 回答比率（p）	９０％または１０％程度	８０％または２０％程度	７０％または３０％程度	６０％または４０％程度	５０％程度
５３９	±2.6％	±3.4％	±3.9％	±4.2％	±4.3％
５００	±2.7％	±3.6％	±4.1％	±4.4％	±4.5％
４００	±3.0％	±4.0％	±4.6％	±4.9％	±5.0％
３００	±3.5％	±4.6％	±5.3％	±5.7％	±5.8％
２００	±4.2％	±5.7％	±6.5％	±6.9％	±7.1％
１００	±6.0％	±8.0％	±9.2％	±9.8％	±１０.０％

【表の見方】

例えば、「身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。」の設問に「良い」と回答した人は全体（n=５３９）の約２０％でした。

この場合、標本誤差は±３.４％であるため、目黒区の１８歳以上の人で、「良い」と考えている人の割合は、標本誤差を補正すると、１６.６％から２３.４％の間にあることが、９５％の信頼度でいえることになります。

＜比較表＞

		満 18 歳以上人口		調査対象者数		有効回答数※		
		実数（人）	構成比（%）	対象者（人）	構成比（%）	回答数	構成比（%）	回答率（%）
合計		２４２,９１７	１００.０	2,０００	１００.０	５３９	１００.０	２７.５
性別	男性	１１３,５７１	４６.８	1,０００	５０.０	２０１	３７.３	２０.５
	女性	１２９,３４６	５３.２	1,０００	５０.０	３１８	５９.０	３２.６
	無回答	-	-	-	-	２０	3.7	-
年代別	10・20 歳代	３９,５６４	１６.３	４２４	２１.２	５８	１０.８	１４.０
	３０歳代	５０,２６７	２０.７	４５０	２２.５	９６	１７.８	２２.２
	４０歳代	４９,５１９	２０.４	４２４	２１.２	１１５	２１.３	２７.５
	５０歳代	３６,３２４	１４.９	２３８	１１.９	８１	１５.０	３４.５
	６０歳代	２５,９１６	１０.７	１８６	9.3	８２	１５.２	４４.６
	７０歳以上	４１,３２７	１７.０	２７８	１３.９	１０７	１９.９	３９.１
	無回答	-	-	-	-	０	０.０	-

※ 有効回答数 ÷（発送数 － 不着数）× １００

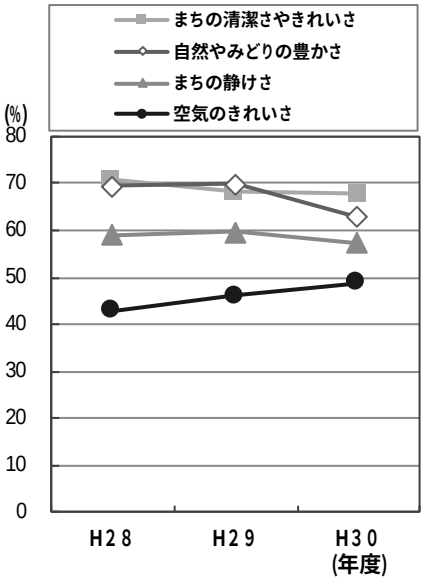
資料編

アンケート調査のまとめ

住まい周辺の身近な環境について（問１、問５）

●身近な環境に関する４項目（「まちの清潔さやきれいさ」、「自然やみどりの豊かさ」、「まちの静けさ（騒音や振動）」、「空気のきれいさ」）について、「良い」・「やや良い」の割合の合計を比較すると、「まちの清潔さやきれいさ」、「まちの静けさ」、「空気のきれいさ」は、２０１７（平成２９）年度とほぼ横ばいとなっています。一方で「自然やみどりの豊かさ」の項目が、２０１７（平成２９）年度より減少しています。

●「身近な環境を総合的に見てどのように感じているのか」という質問に対し、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合が６３.８％でした。区民のおおよそ５人に３人が、身近な環境を「良い」と感じていることが推測できます。



環境にやさしい行動の取組状況について（問７、問９、問１０）

●「環境にやさしい行動の取組状況」について聞いたところ、「ごみの分別」、「資源回収」、「ものを大切にする」、「こまめな消灯」、「公共交通機関の利用」、「再生品や詰め替え商品の購入」は「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が９０％を超えており、取組として定着していることがうかがえます。

●２０１７（平成２９）年度と比較すると、「冷暖房の設定を夏は室温２８℃、冬は室温２０℃をめやすにする」、「身近に生息している生きものや植物を大切にする」、「環境に関するイベントなどに参加し、環境について学ぶ」、「家庭で二酸化炭素削減・省エネプログラムに取り組む」は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が約５％増加しています。それ以外の項目における取組状況は、ほぼ横ばいとなっています。

●省エネルギーを意識した電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）の使用量削減への取組状況を聞いたところ、すべての項目で「常に意識して取り組んだ」・「ときどき取り組んだ」の割合の合計が「意識はあったが取り組まなかった」・「意識はなく、取り組まなかった」の割合の合計を超えていました。

●昨年１年間のエネルギー使用状況を聞いたところ、電気・ガス・水道・ガソリン（自動車）のすべての項目で「減っている」が「増えている」の割合を超えていました。

区で行っている環境保全活動について（問１３、問１９）

●「環境保全に関する取組に参加したことがあるか」という質問では、「どれにも参加したことがない」という回答が９１.7％でした。参加したことがない人に参加できない理由を聞いたところ、「活動があることを知らないから」が最も多く、次いで「参加する時間がないから」という結果でした。

●区の施策に関する満足度について聞いたところ、すべての項目で「満足」・「やや満足」の割合の合計が「不満」・「やや不満」の割合の合計を上回っていました。

アンケート調査の結果

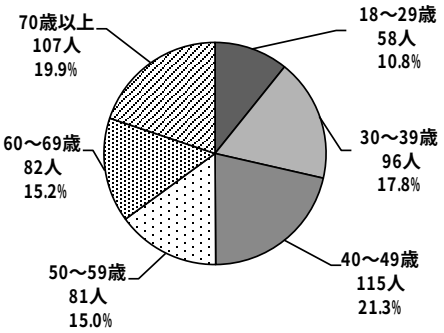
アンケート回答者の属性（n=５３９）

＜ 性別 ＞

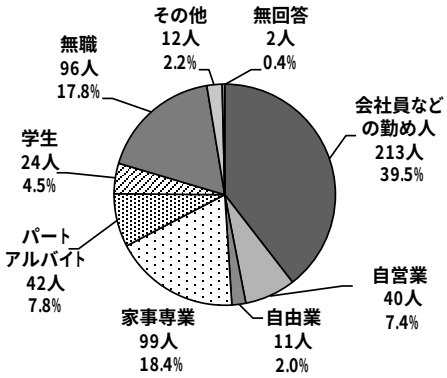
男性	女性	無回答
２０１人	３１８人	２０人
３７.３％	５９.０％	３.７％

○無作為抽出では２,０００人のうち、
男性１,０００人（５０.０％）、
女性１,０００人（５０.０％）でした。

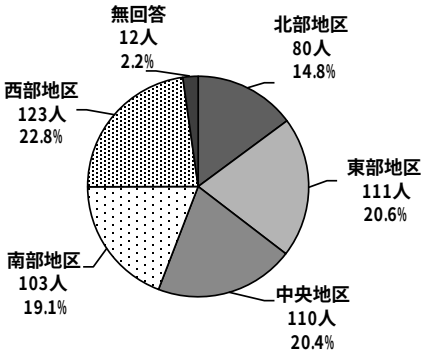
＜ 年齢 ＞



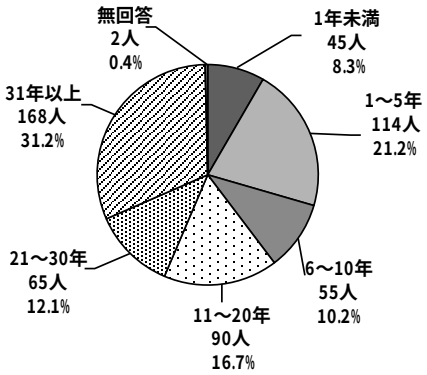
＜ 職業 ＞



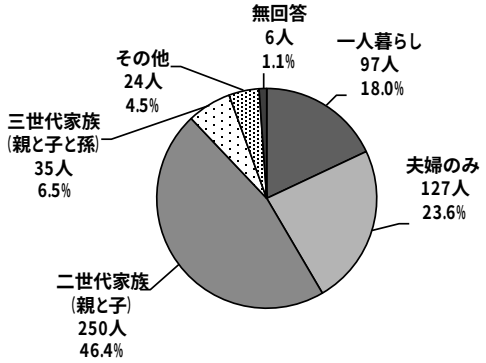
＜ 居住地区 ＞



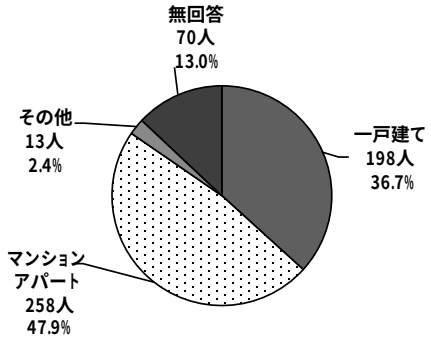
＜ 居住年数 ＞



＜ 世帯構成 ＞



＜ 住宅の種類 ＞



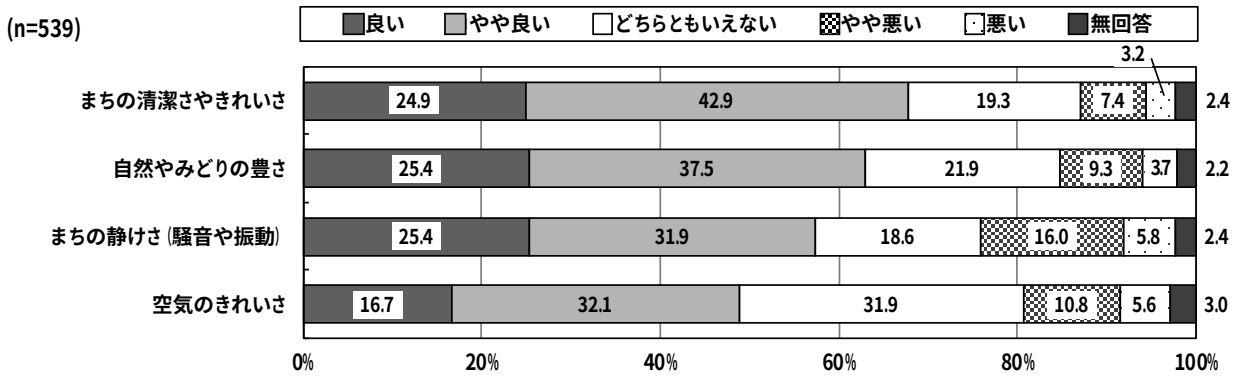
資料編

単純集計

１．現在お住まいの身近な環境について（問１～問６）

問１　身近な環境について、どのように感じていますか。

○ すべての項目で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が、「悪い」・「やや悪い」の割合の合計よりも高くなっています。
○ ２０１７（平成２９）年度と「良い」・「やや良い」の割合の合計を比較すると、「まちの清潔さやきれいさ」、「まちの静けさ（騒音や振動）」、「空気のきれいさ」は、ほぼ横ばいとなっています。一方で「自然やみどりの豊かさ」の項目は、「良い」・「やや良い」と感じている人の割合が減少しています。



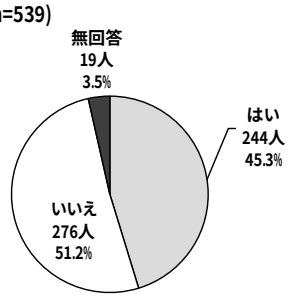
（人）

	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	無回答
まちの清潔さやきれいさ	１３４	２３１	１０４	４０	１７	１３
自然やみどりの豊さ	１３７	２０２	１１８	５０	２０	１２
まちの静けさ（騒音や振動）	１３７	１７２	１００	８６	３１	１３
空気のきれいさ	９０	１７３	１７２	５８	３０	１６

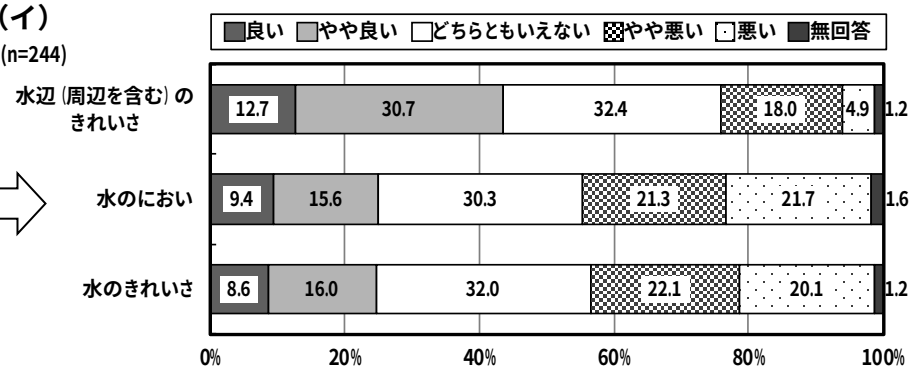
問２（ア）　お住まいの近くに川や池がありますか。
（イ）　お住まいの近くに川や池がある方にお聞きします。

○ 住まいの近くに川や池があると回答した人は、４５.３％でした。
○ 「水辺（周辺を含む）のきれいさ」は、「良い」・「やや良い」の割合の合計（４３.４％）が、「悪い」・「やや悪い」の割合の合計（２２.９％）より高くなっています。
○「水のにおい」は、「良い」・「やや良い」の割合の合計（２５.０％）が「悪い」・「やや悪い」の割合の合計（４３.０％）を下回っています。
○ ２０１７（平成２９）年度と比較すると、「水のにおい」、「水のきれいさ」の「良い」・「やや良い」の割合の合計はほぼ横ばいでしたが、「水辺（周辺を含む）のきれいさ」については減少しています。

（ア）
(n=539)



（イ）
(n=244)



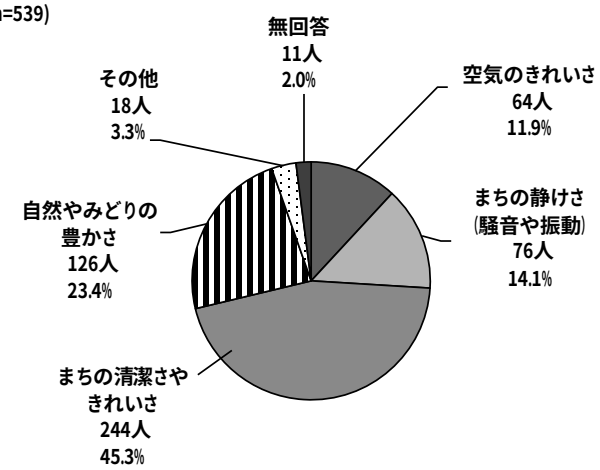
（人）

	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	無回答
水辺（周辺を含む）のきれいさ	３１	７５	７９	４４	１２	３
水のにおい	２３	３８	７４	５２	５３	４
水のきれいさ	２１	３９	７８	５４	４９	３

問３　身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。

○ 最も重要と思う項目としては、「まちの清潔さやきれいさ」が４５.３％と最も多くなっています。次いで、「自然やみどりの豊かさ」が２３.４％、「まちの静けさ」が１４.１％となっています。
○「その他」の回答としては、「安全・安心」（１０件）が最も多く、次いで「人のよさ」（３件）などの回答がありした。

(n=539)

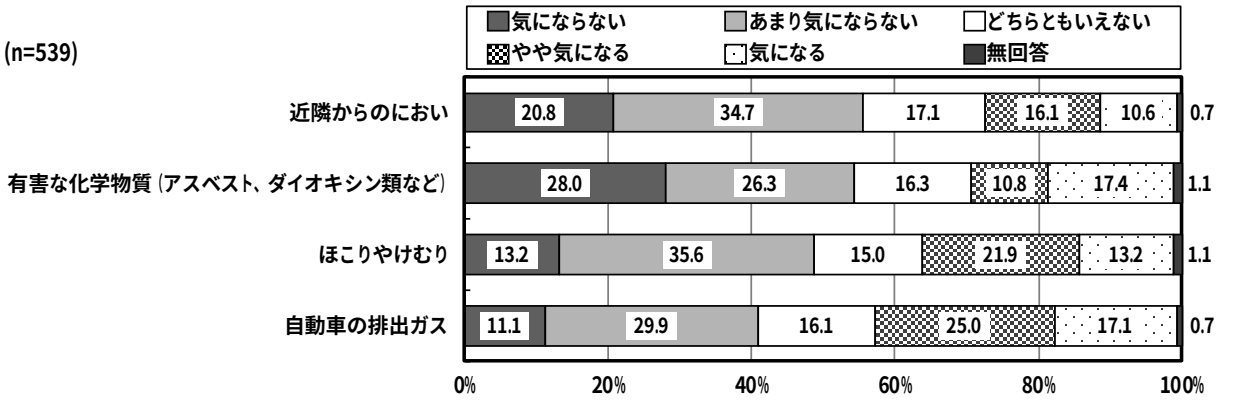


資料編

問４　身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

（１）空気のきれいさについて

○ 空気のきれいさについて、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計が最も高い項目は、「近隣からのにおい」で５５.５％となっています。
○ 「自動車の排出ガス」は、「やや気になる」・「気になる」の割合の合計（４２.１％）が、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計（４１.０％）を上回っています。

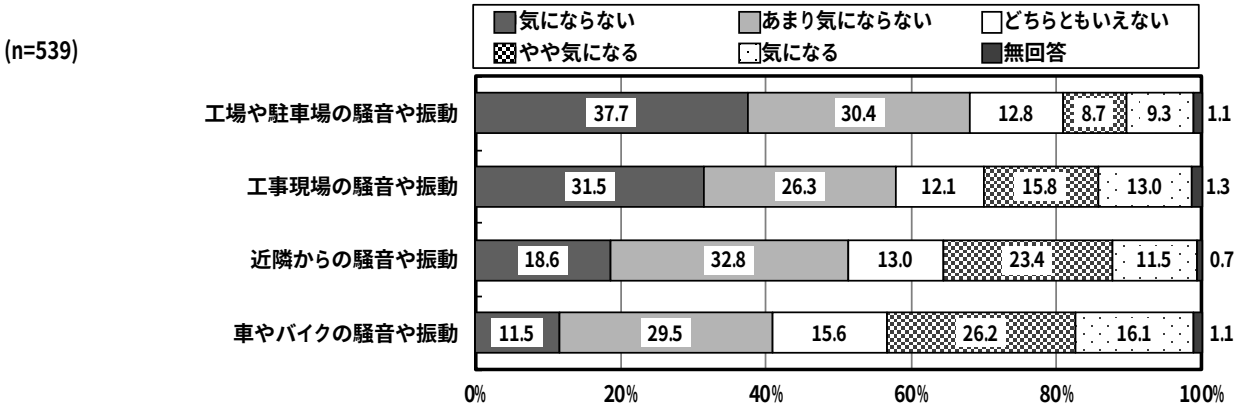


（人）

	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる	無回答
近隣からのにおい	１１２	１８７	９２	８７	５７	４
有害な化学物質（アスベスト、ダイオキシン類など）	１５１	１４２	８８	５８	９４	６
ほこりやけむり	７１	１９２	８１	１１８	７１	６
自動車排気ガス	６０	１６１	８７	１３５	９２	４

（２）まちの静けさ（騒音や振動）について

○ まちの静けさについて、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計が最も高い項目は、「工場や駐車場の騒音や振動」で６８.１％となっています。
○「車やバイクの騒音や振動」については、「気になる」・「やや気になる」の割合の合計（４２.３％）が、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計（４１.０％）を上回っています。



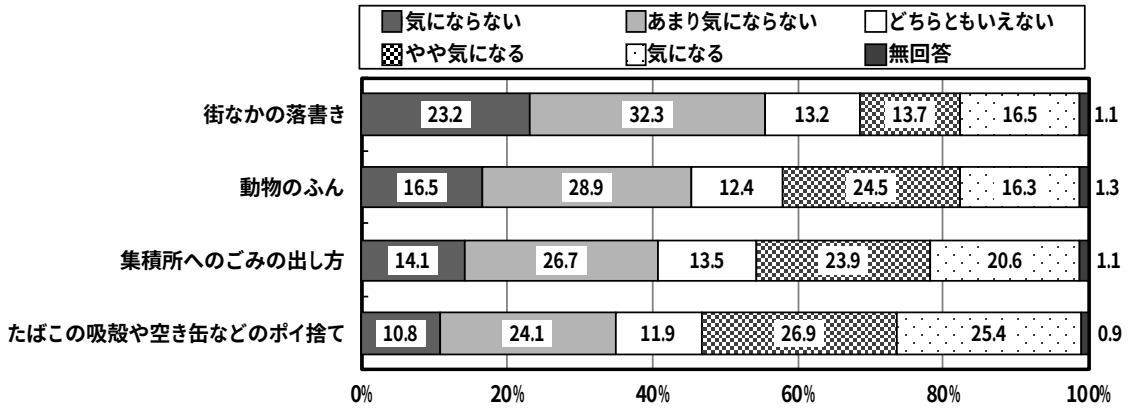
（人）

	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる	無回答
工場や駐車場の騒音や振動	２０３	１６４	６９	４７	５０	６
工事現場の騒音や振動	１７０	１４２	６５	８５	７０	７
近隣からの騒音や振動	１００	１７７	７０	１２６	６２	４
車やバイクの騒音や振動	６２	１５９	８４	１４１	８７	６

（３）まちの清潔さやきれいさについて

○ まちの清潔さやきれいさについて、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計が最も高い項目は、「街なかの落書き」で５５.５％となっています。
○ 「集積所へのごみの出し方」、「たばこの吸殻や空き缶などのポイ捨て」は、「やや気になる」・「気になる」の割合の合計が、「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計を上回っています。

(n=539)

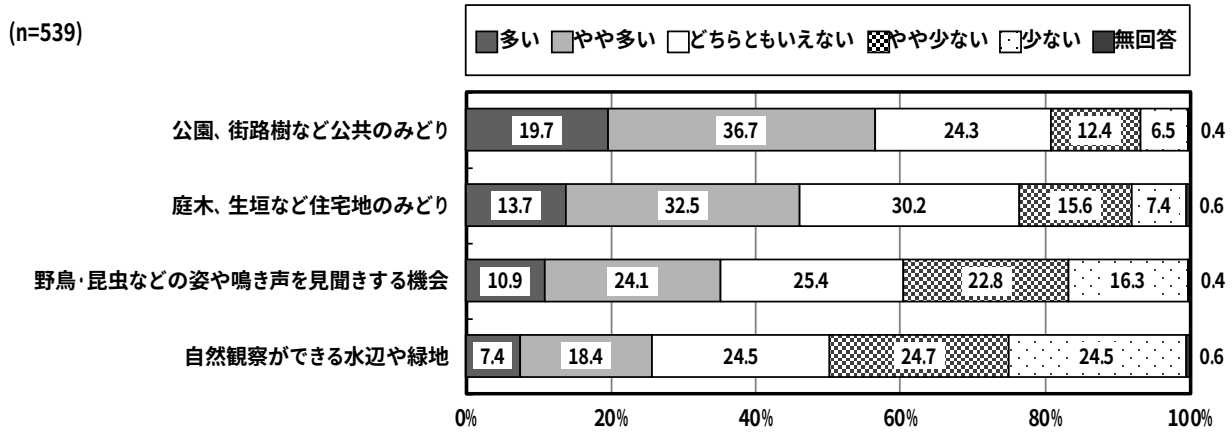


（人）

	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる	無回答
街なかの落書き	１２５	１７４	７１	７４	８９	６
動物のふん	８９	１５６	６７	１３２	８８	７
集積所へのごみの出し方	７６	１４４	７３	１２９	１１１	６
たばこの吸殻や空き缶などのポイ捨て	５８	１３０	６４	１４５	１３７	５

（４）自然やみどりの豊かさについて

○ 自然やみどりの豊かさについて、「多い」・「やや多い」の割合の合計が最も高い項目は、「公園、街路樹など公共のみどり」で５６.４％となっています。
○ 「野鳥・昆虫などの姿や鳴き声を見聞きする機会」、「自然観察ができる水辺や緑地」は「やや少ない」・「少ない」の割合の合計が、「多い」・「やや多い」の割合の合計より高く、みどりは豊かでも自然とのふれあいは乏しいと感じていることがうかがえます。

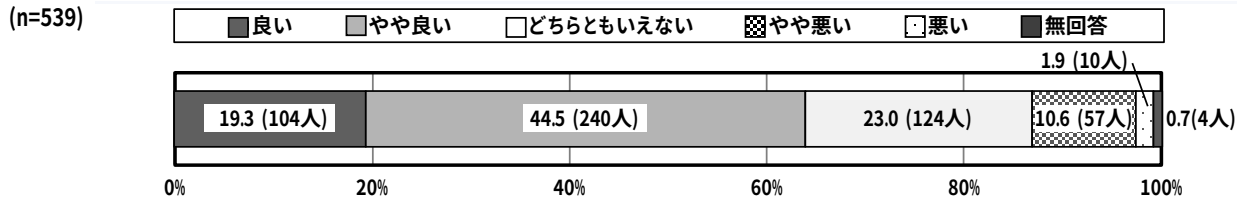


（人）

	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない	無回答
公園、街路樹など公共のみどり	１０６	１９８	１３１	６７	３５	２
庭木、生垣など住宅地のみどり	７４	１７５	１６３	８４	４０	３
野鳥・昆虫などの姿や鳴き声を見聞きする機会	５９	１３０	１３７	１２３	８８	２
自然観察ができる水辺や緑地	４０	９９	１３２	１３３	１３２	３

問５　身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。

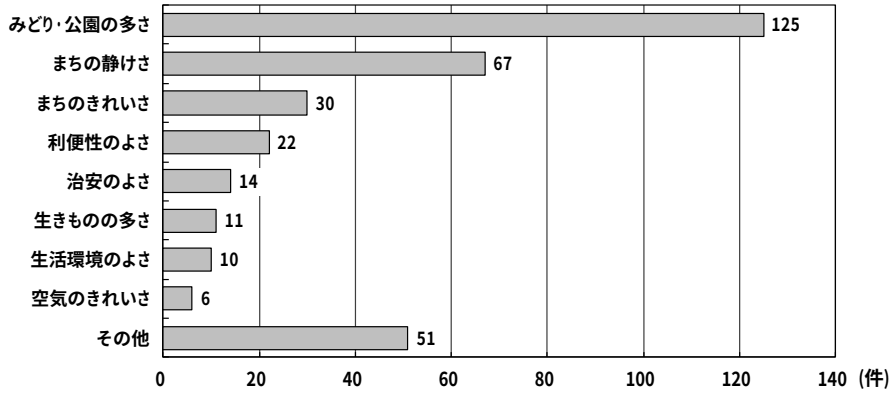
○ 「良い」・「やや良い」の割合の合計（６３.８％）が、「悪い」・「やや悪い」の割合の合計（１２.５％）を大きく上回っています。このことから、身近な環境について良いと感じている人が多いことがうかがえます。



問６　問５で回答した理由をご記入ください（自由回答）。

＜「良い」と思う理由　回答者数：２９２人、延べ回答件数：３３６件＞

○ 身近な環境を良いと感じるキーワードとして、みどり・公園の多さ、まちの静けさなどが挙げられます。



【具体的な内容（抜粋）】

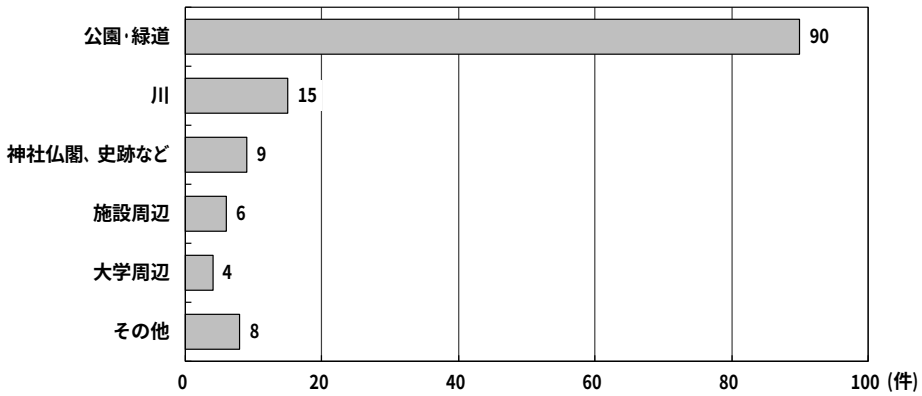
みどり・公園の多さ
・みどりが多く、子どもを育てるのに向いている
・庭木や花鉢を置いている住宅がある
・公園や街路樹の手入れがよくされている　など

まちの静けさ
・閑静な住宅街で、車の出入りも少ない
・隣の方々のマナーがよい　など

まちのきれいさ
・ごみのポイ捨てが少ない
・ごみの回収がきちんとされている　など

＜「良い」と思う場所　回答者数：１０７人、延べ回答件数：１３２件＞

○ 「良い」と思う場所では、１３２件中９０件が公園・緑道に関する場所であり、自然が感じられる場所が多く回答されました。



【具体的な内容（抜粋）】

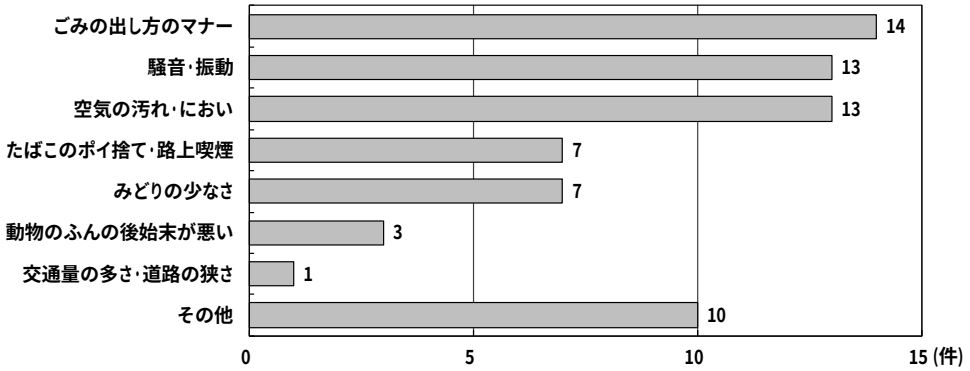
公園・緑道
・都立林試の森公園、駒沢オリンピック公園総合運動場、碑文谷公園、清水池公園
・立会川緑道、呑川緑道　など

川
・目黒川、呑川　など

神社仏閣、史跡など
・泰叡山瀧泉寺（目黒不動尊）、碑文谷八幡宮　など

＜「悪い」と思う理由　回答者数：６５人、延べ回答件数：６８件＞

○ 身近な環境を悪いと感じるキーワードとして、ごみの出し方のマナー、騒音・振動などが挙げられます。



【具体的な内容（抜粋）】

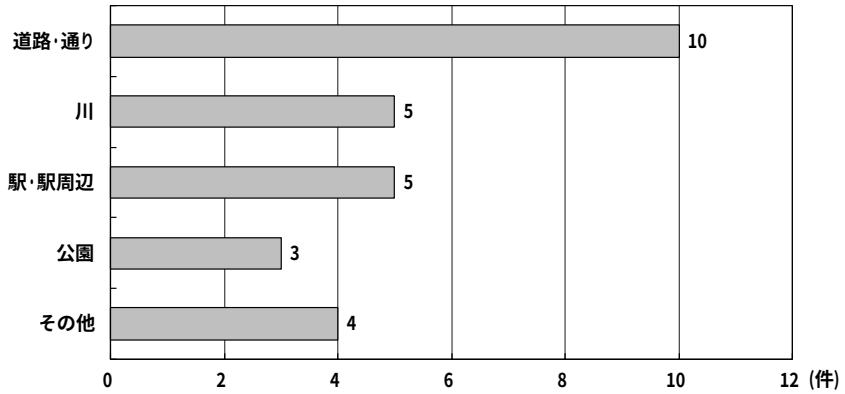
ごみの出し方のマナーが悪い　・集積所のルールが守られていない
・ルールを守らず出されたごみが置きっぱなしになっている　など

騒音・振動　・車や道路工事による騒音・振動
・イベント時の音楽や通行人の大声　など

空気の汚れ・におい　・幹線道路沿いの排気ガス
・川沿いで悪臭がする　など

＜「悪い」と思う場所　回答者数：２２人、延べ回答件数：２７件＞

○ 「悪い」と思う場所では、２７件中１０件が道路に関する場所であり、幹線道路沿いの場所が多く回答されました。



【具体的な内容（抜粋）】

道路・通り　・目黒通り・山手通り・環状７号線の騒音
・歩道が狭い　など

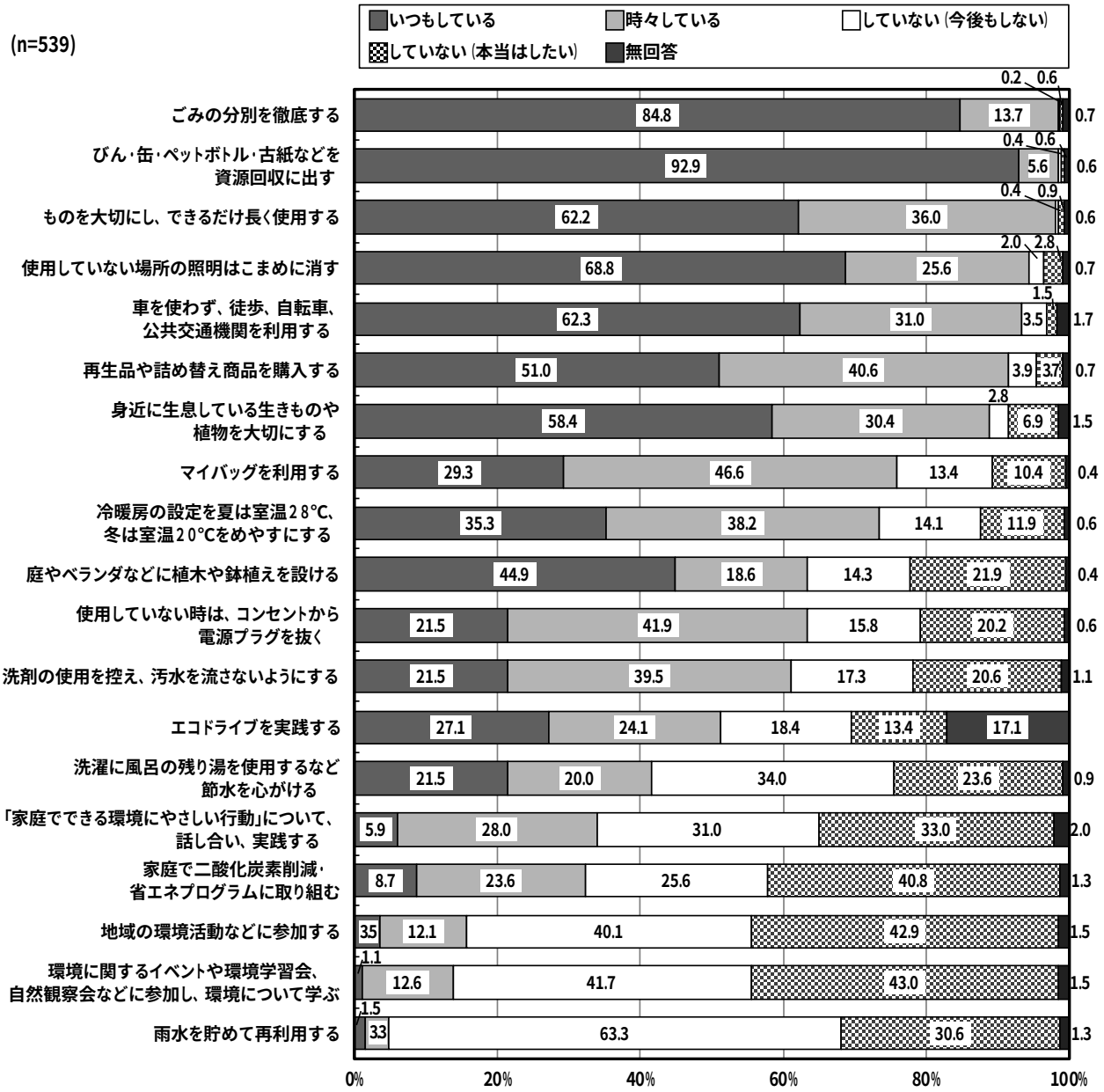
２．環境にやさしい行動の取組状況について（問７～問１２）

問７　あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

＜家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ＞

○「ごみの分別」、「資源回収」、「ものを長く使うこと」、「こまめな消灯」、「車を使わず公共交通機関を利用すること」、「再生品や詰め替え商品を買うこと」は、「いつもしている」・「時々している」の割合の合計が９０％を超えており、取組として定着していることがうかがえます。

○ ２０１７（平成２９）年度と比較すると、「身近に生息している生きものや植物を大切にする」、「冷暖房の設定を夏は室温２８℃、冬は室温２０℃をめやすにする」、「家庭で二酸化炭素削減・省エネプログラムに取り組む」、「環境に関するイベントなどに参加し環境について学ぶ」は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が約５％増加しています。それ以外の項目における取組状況は、ほぼ横ばいとなっています。

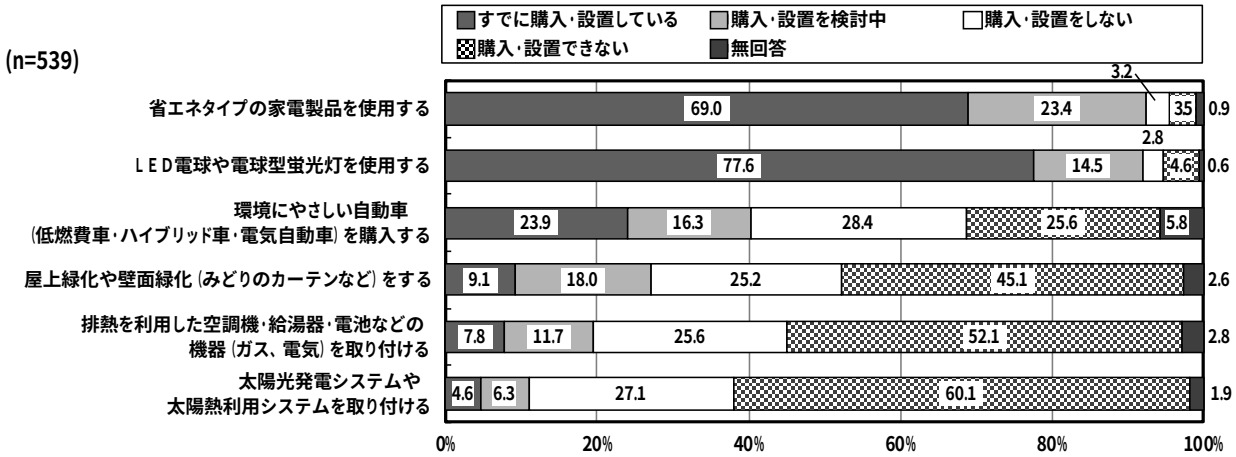


資料編

＜家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ＞

○ 「すでに購入・設置している」の割合が高い項目は、「ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯を使用する」（７７.６％）、「省エネタイプの家電製品を使用する」（６９.０％）です。また、両項目とも「購入・設置を検討中」を含めると、９０％を超えています。

○ 「すでに購入・設置している」の割合が低い項目は、「太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける」（４.６％）、「排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器を取り付ける」（７.８％）です。両項目とも「購入・設置できない」の割合が５０％を超えています。この理由としては、価格が高いこと、賃貸住宅など居住形態による物理的な制約があることなどが考えられます。



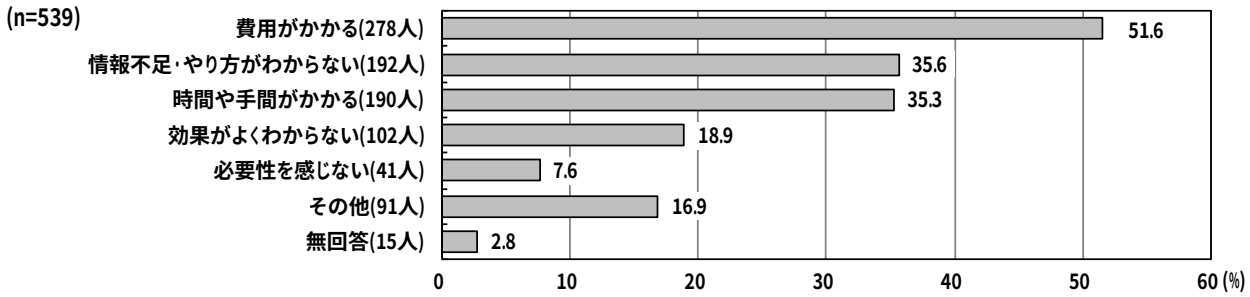
（人）

	すでに購入・設置している	購入・設置を検討中	購入・設置をしない	購入・設置できない	無回答
省エネタイプの家電製品を使用する	３７２	１２６	１７	１９	５
ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯を使用する	４１８	７８	１５	２５	３
環境にやさしい自動車を購入する	１２９	８８	１５３	１３８	３１
屋上緑化や壁面緑化（みどりのカーテンなど）をする	４９	９７	１３６	２４３	１４
排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器を取り付ける	４２	６３	１３８	２８１	１５
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	２５	３４	１４６	３２４	１０

問８　あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。【複数回答】

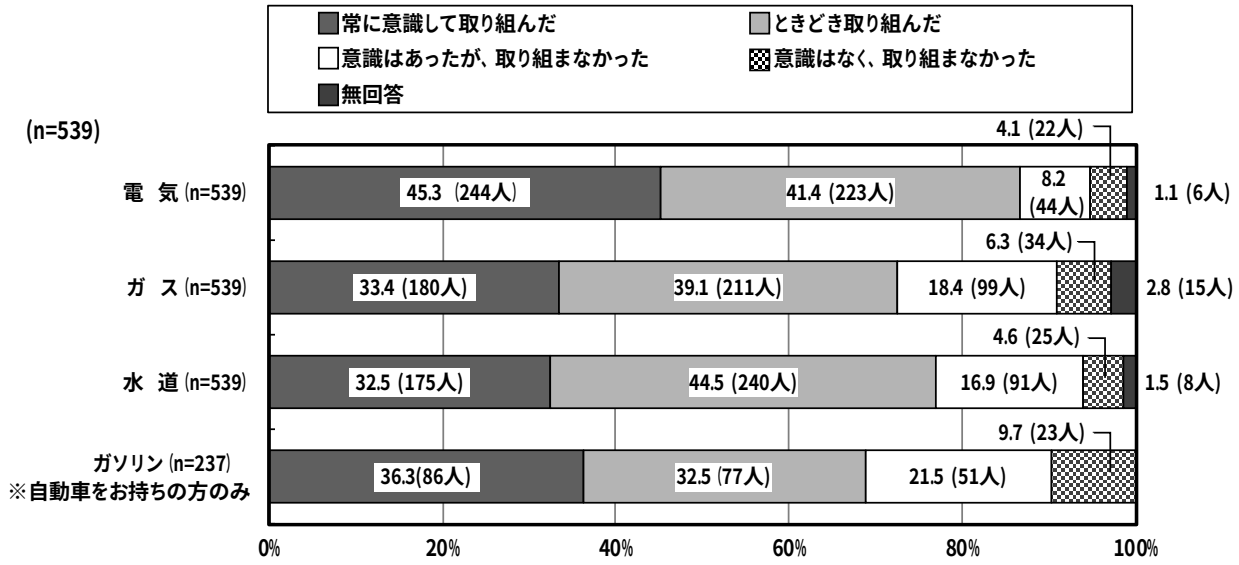
○ 取り組むことが難しい理由としては、「費用がかかる」（５１.６％）が最も高い割合を占めています。次いで、「情報不足・やり方がわからない」（３５.６％）、「時間や手間がかかる」（３５.３％）となっています。

○ 「その他」は、「賃貸・マンションのため」（４８件）が最も多く、「できることはやっている」（１４件）、「年齢、体力的に難しい」（１１件）などの回答がありました。



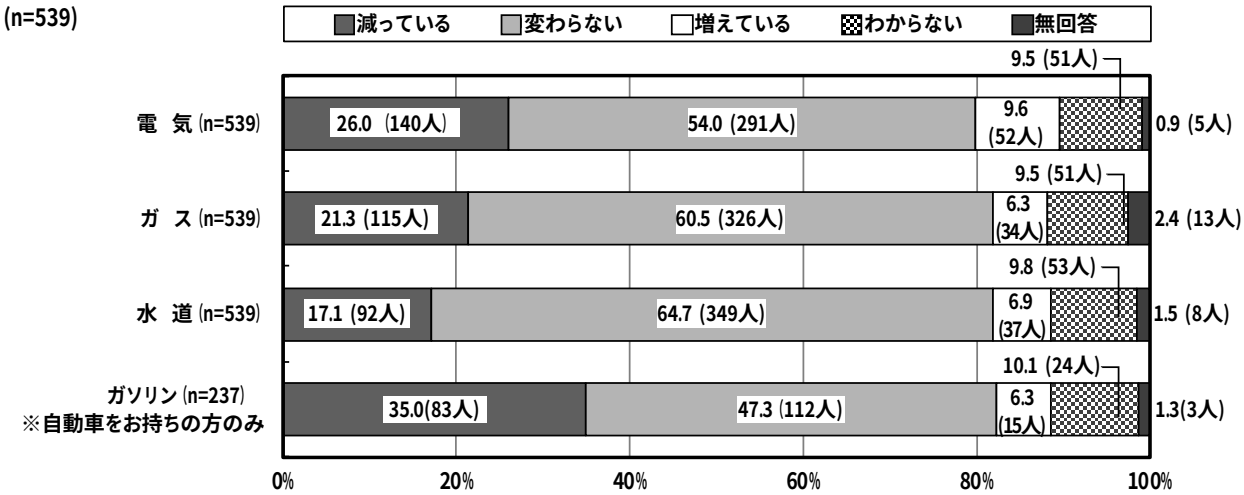
問９　あなたは、昨年１年間に省エネルギーを意識して電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）の使用量削減に取り組みましたか。

○ 電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）のすべての項目において、「常に意識して取り組んだ」・「ときどき取り組んだ」の割合の合計が「意識はあったが取り組まなかった」・「意識はなく、取り組まなかった」の割合の合計を超えています。



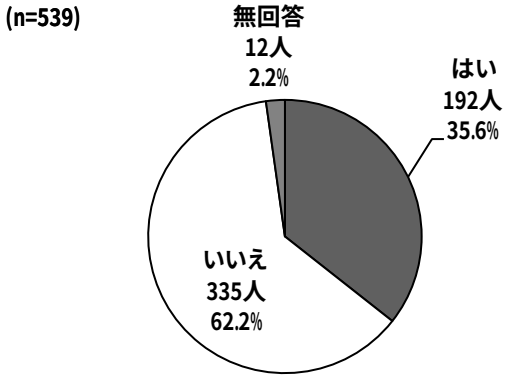
問 10　あなたの世帯の電気・ガス・水道・ガソリン（自動車）の昨年１年間の使用量は、その前の１年間と比べて、どのように変化していますか。

○ 電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）のすべての項目において、使用量が「減っている」という回答が「増えている」の割合を超えています。
○ 電気、ガス、水道で「変わらない」と回答している人が多いのは、既に節約が定着している人も含まれているからと考えられます。



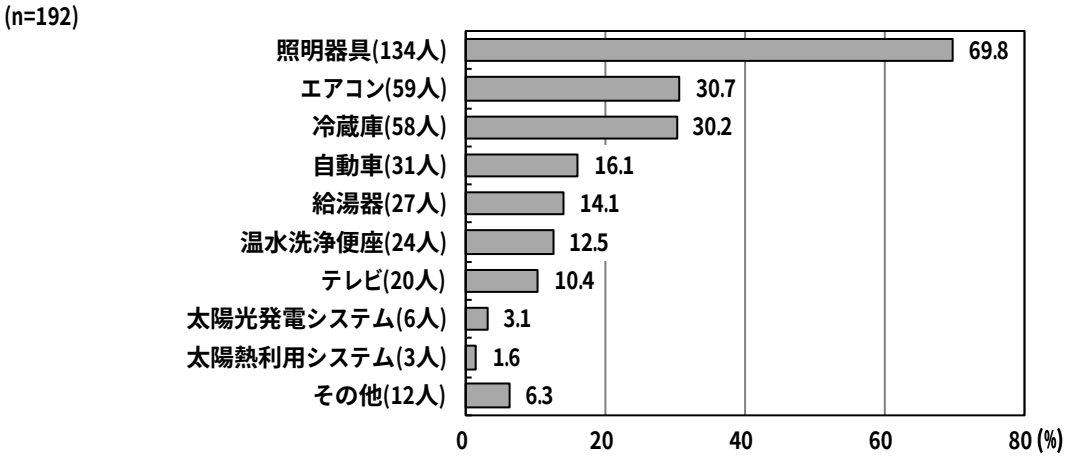
問１１（ア）あなたの世帯では、昨年１年間で省エネルギーを意識して家電や自動車の買い替え、再生可能エネルギー機器を導入しましたか。

○ 環境に配慮して家電や自動車の買い替え、機器を導入したと回答した人は３５.６％でした。



問１１（イ）「はい」と答えた方のみにお聞きします。具体的に買い替え、導入したものは何ですか。【複数回答】

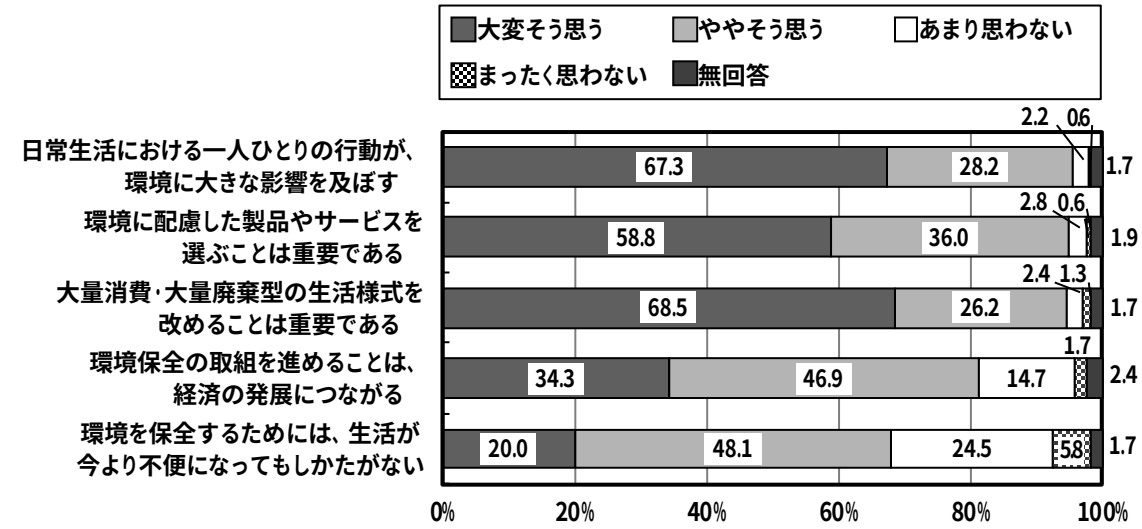
○ 買い替え、導入したものとしては、照明器具の買い替え（６９.８％）が最も高く、次いで、エアコン（３０.７％）、冷蔵庫（３０.２％）となっています。
○ その他は、「洗濯機」（４人）が最も多く、「節水シャワーヘッド」や、「充電式電池」などの回答がありました。



問１２　環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

○ すべての項目で「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が６５％以上となり、環境に対する取組について、肯定的な意見を持つ人が多いことがうかがえます。
○ ２０１７（平成２９）年度と比較すると、「環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である」と「環境保全の取組をすすめることは経済の発展につながる」の項目の「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が増加しました。
○ 次の＜参考＞にある環境省の調査結果と比べると、すべての項目で「大変そう思う」の割合が目黒区の調査結果のほうが高くなっています。

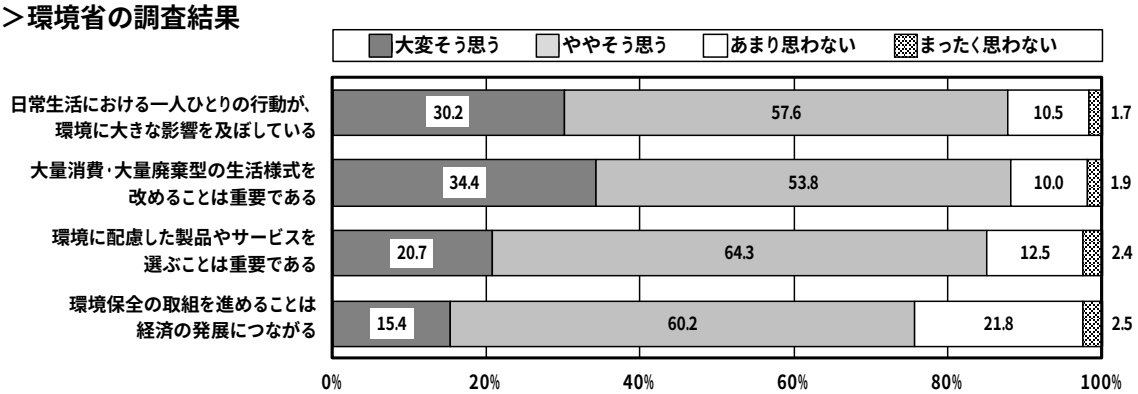
(n=539)



（人）

	大変そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす	３６３	１５２	１２	３	９
環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	３１７	１９４	１５	３	１０
大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	３６９	１４１	１３	７	９
環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	１８５	２５３	７９	９	１３
環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない	１０８	２５９	１３２	３１	９

＜参考＞環境省の調査結果



WEB　環境省＞総合環境政策＞環境基本計画＞環境にやさしいライフスタイル実態調査等＞平成２８年度調査環境にやさしいライフスタイル実態調査（国民調査の結果）＞２．結果の概要＞２.５環境問題に対する考え方等への意見・考え

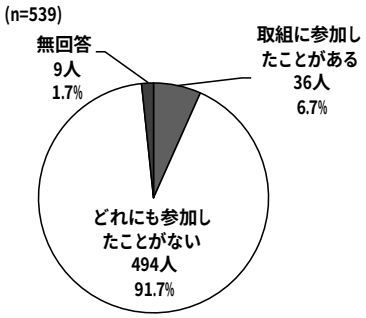
出典：環境省ホームページより（調査結果一部抜粋）

３．目黒区で行っている環境保全活動について（問１３～問１９）

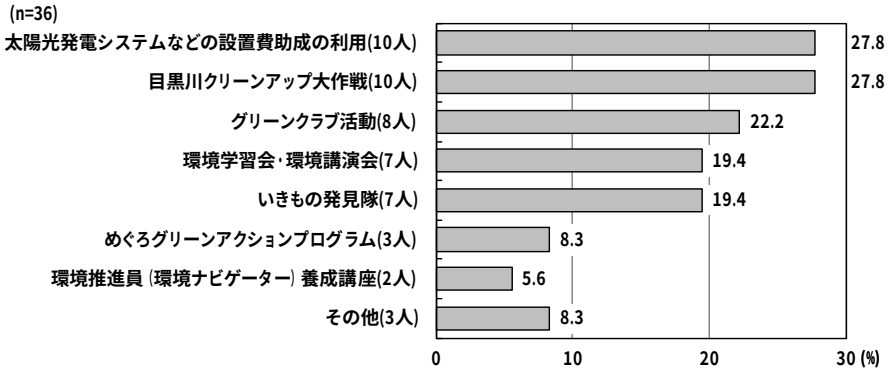
問１３（ア）区では、枠内に示すような環境保全に関する取組・支援を行っています。これらの取組に参加したことがありますか。【複数回答】

○ 環境保全に関する取組に「どれにも参加したことがない」が９１.７％となっています。
○ 参加したことのある取組のうち、回答者数が多かった取組は、「太陽光発電システムなどの設置費助成の利用」と「目黒川クリーンアップ大作戦」でした。
○ 「その他」では、「ＷＥ　ＬＯＶＥ　ＭＥＧＵＲＯ（清掃美化活動）」などの回答がありました。

＜参加の有無＞

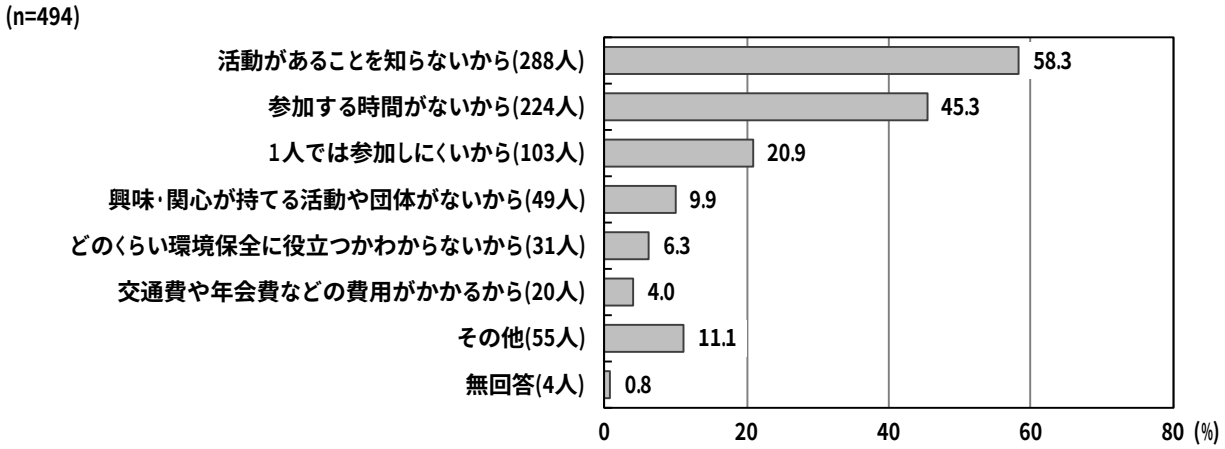


＜参加したことのある取組＞



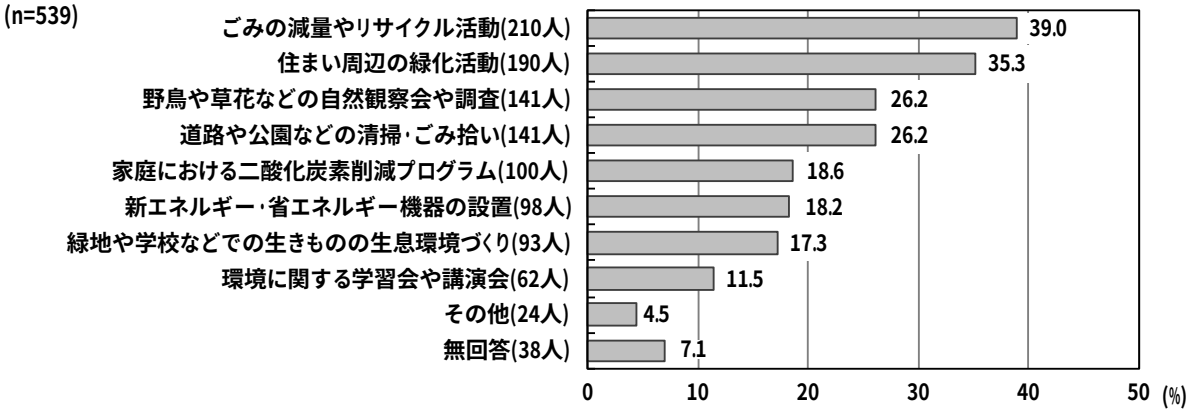
問１３（イ）どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。参加できない理由は何ですか。【複数回答】

○ 参加できない理由としては、「活動があることを知らないから」（５８.３％）が最も多くなっていました。次いで、「参加する時間がないから」（４５.３％）、「１人では参加しにくいから」（２０.９％）となっています。
○ 「その他」の理由としては、「高齢、体調不良」（１９人）、「転入したばかり」（１１人）、「別の団体の活動に参加している」（３人）などの回答がありました。



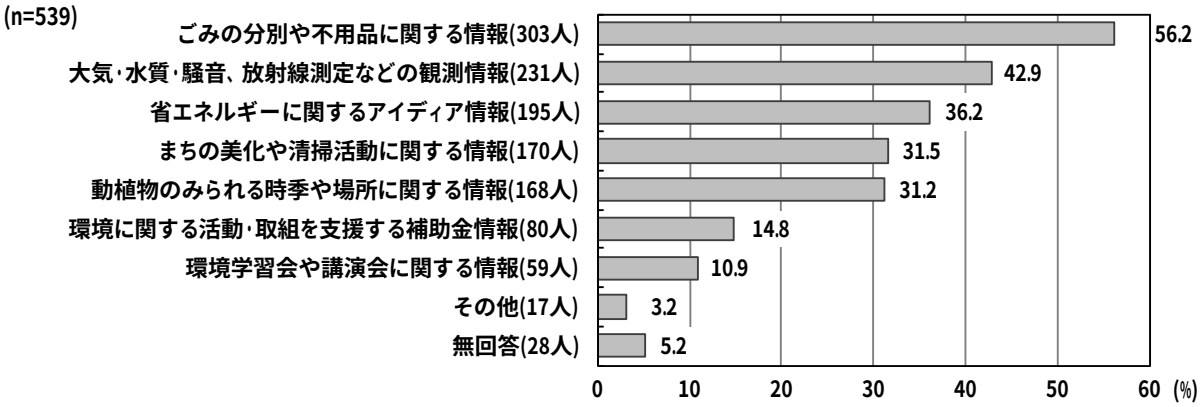
問１４　今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。【複数回答】

○ 興味がある活動としては、「ごみの減量やリサイクル活動」（３９.０％）、「住まい周辺の緑化活動」（３５.３％）が多く、次いで「野鳥や草花などの自然観察会や調査」（２６.２％）及び「道路や公園などの清掃・ごみ拾い」（２６.２％）となっています。
○「その他」では、「太陽光発電パネルの設置について」、「子供と一緒に活動できるもの」などの回答がありました。



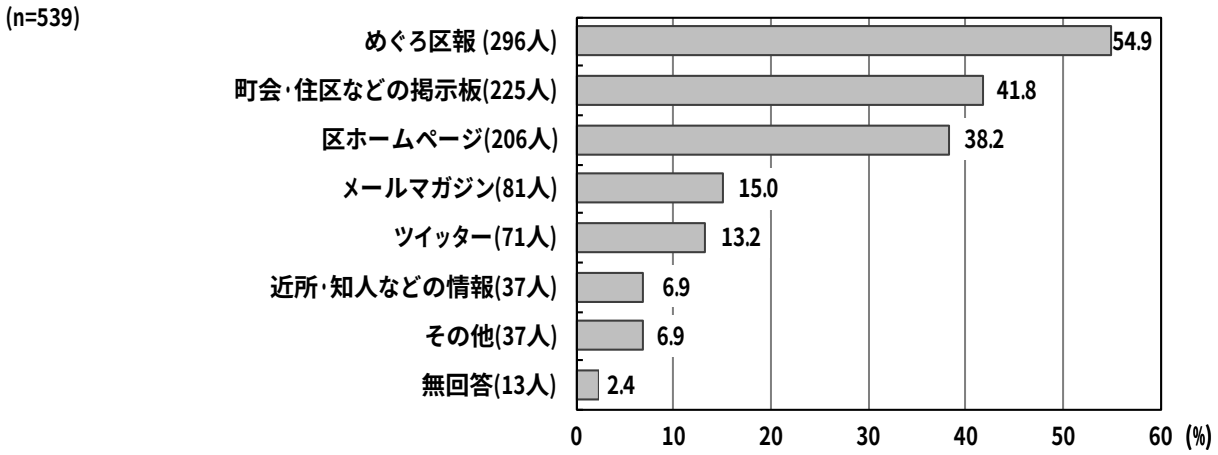
問１５　区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。【複数回答】

○ 「ごみの分別や不用品に関する情報」（５６.２％）が最も多く、次いで「大気・水質・騒音、放射線測定などの観測情報」（４２.９％）、「省エネルギーに関するアイディア情報」（３６.２％）と続き、その順位や比率は２０１７（平成２９）年度とほぼ変わりません。



問１６　区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

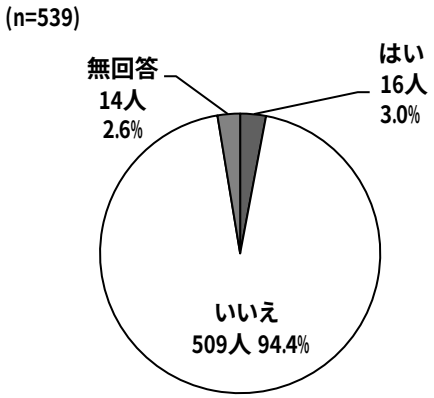
○ 「めぐろ区報」（５４.９％）が最も多く、次いで「町会・住区などの掲示板」（４１.８％）、「区ホームページ」（３８.２％）となっています。
○ 「その他」では、「フェイスブック・ライン・インスタグラム」（５件）、「郵送・チラシ」（５件）などの回答がありました。



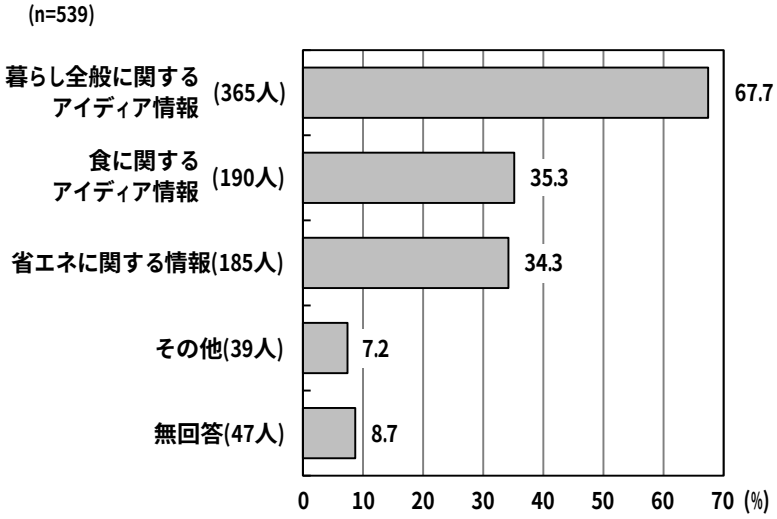
問１７　「めぐろスマートライフ」ホームページについてお聞きします。

○ ２０１５（平成２７）年４月に開設した「めぐろスマートライフ」ホームページを知っている人は３.０％、知らない人は９４.４％となっています。
○ 今後、充実を望む情報は、「暮らし全般に関するアイディア情報」（６７.７％）が一番多く、続いて「食に関するアイディア」（３５.３％）、「省エネに関する情報」（３４.３％）となっています。

（ア）＜ホームページを知っている＞

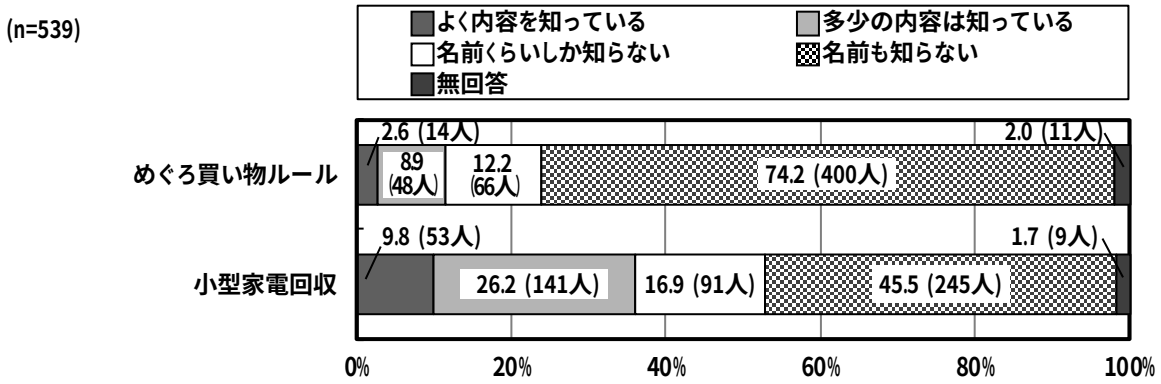


（イ）＜今後、充実を望む情報＞【複数回答】



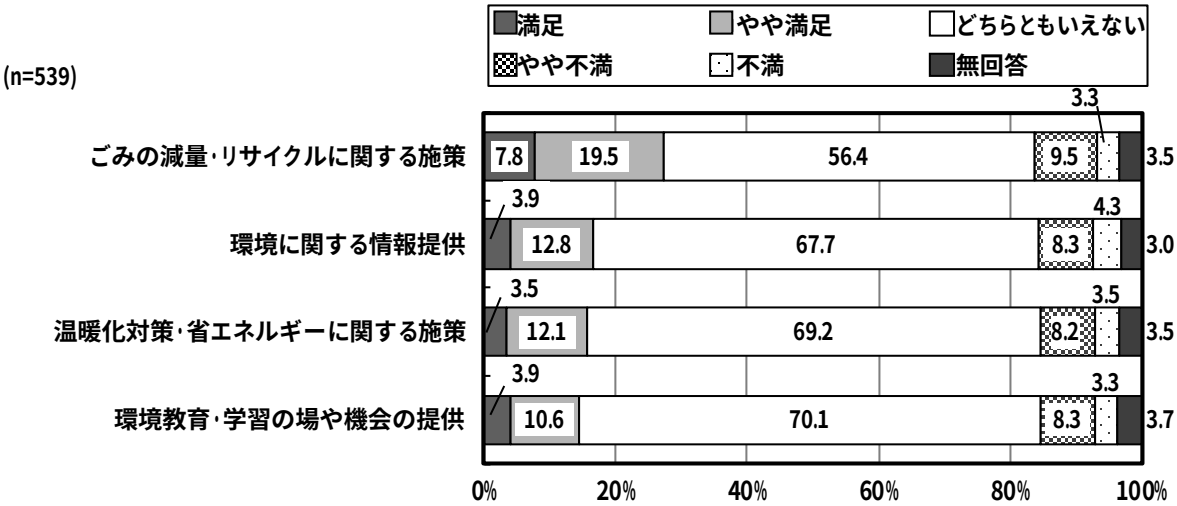
問１８　リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。

○ いずれの項目も、「名前も知らない」が４５％を超えています。
○ 特に「めぐろ買い物ルール」の「名前も知らない」は７４.２％であり、２０１７（平成２９）年度と比較しても大きな変化は見られませんでした。



問１９　目黒区の施策に関する満足度をお聞きします。

○ すべての項目において、「どちらともいえない」が５０％を超えています。
○「ごみの減量・リサイクルに関する施策」の「満足」・「やや満足」の割合の合計は２７.３％と、他の項目と比較すると満足度が高い結果となっています。



（人）

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
ごみの減量・リサイクルに関する施策	４２	１０５	３０４	５１	１８	１９
環境に関する情報提供	２１	６９	３６５	４５	２３	１６
温暖化対策・省エネルギーに関する施策	１９	６５	３７３	４４	１９	１９
環境教育・学習の場や機会の提供	２１	５７	３７８	４５	１８	２０

身近な環境の感じ方

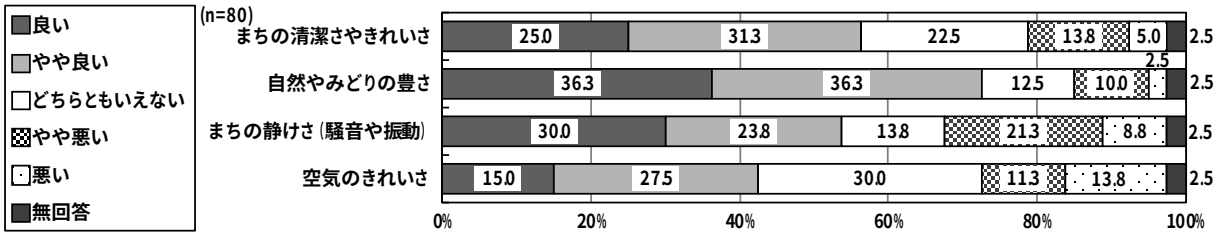
問１　身近な環境について、どのように感じていますか。
問４　身近な環境について、日頃どのように感じていますか。

《 北部地区 》

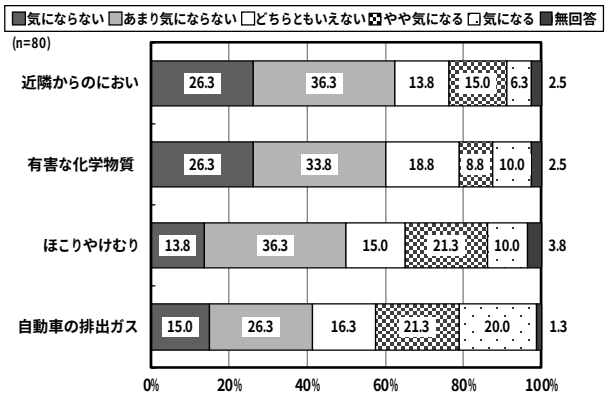
○ 問１における身近な環境４項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「自然やみどりの豊かさ」（７２.６％）でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ（騒音や振動）」（３０.１％）でした。
○ 問１において評価の高かった「自然やみどりの豊かさ」について、問４（４）を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」の「やや多い」・「多い」の割合の合計（７０.０％）が高くなっています。
○ 問１において評価の低かった「まちの静けさ（騒音や振動）」について、問４（２）を項目別に見ると、「車やバイクの騒音や振動」の「やや気になる」・「気になる」の割合の合計（４２.５％）が高くなっています。

＜北部地区の身近な環境の評価＞

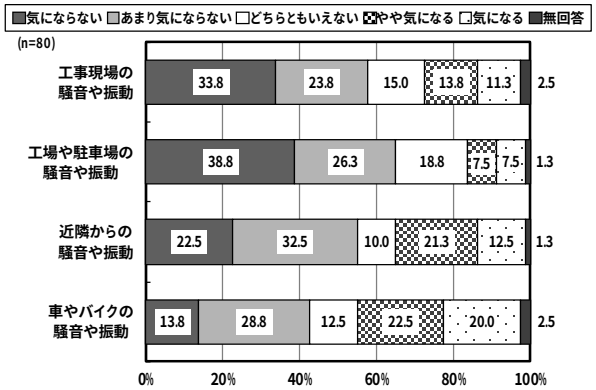
【問１】 北部地区の身近な環境



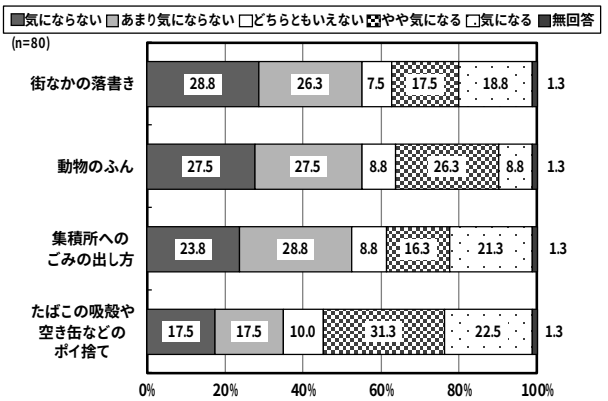
【問４（１）】空気のきれいさ



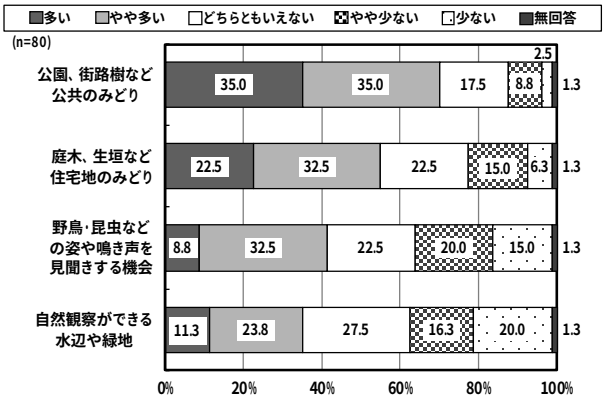
【問４（２）】まちの静けさ（騒音や振動）



【問４（３）】まちの清潔さやきれいさ



【問４（４）】自然やみどりの豊かさ

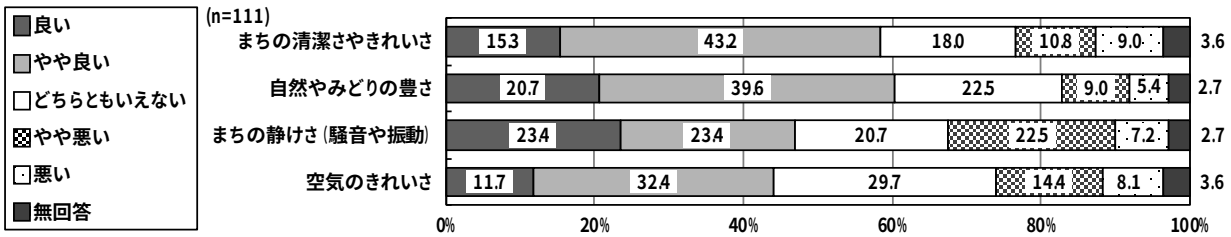


《 東部地区 》

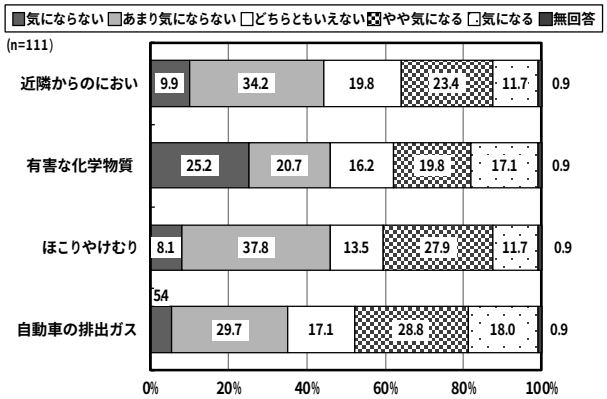
○ 問１における身近な環境４項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「自然やみどりの豊かさ」（６０.３％）でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ（騒音や振動）」（２９.７％）でした。
○ 問１において評価の高かった「自然やみどりの豊かさ」について、問４（４）を項目別にみると、「公園、街路樹など公共のみどり」の「多い」・「やや多い」の割合の合計（５７.６％）が高くなっています。
○ 問１において評価の低かった「まちの静けさ（騒音や振動）」について、問４（２）を項目別に見ると、「車やバイクの騒音や振動」の「やや気になる」・「気になる」の割合の合計（４０.５％）が高くなっています。

＜東部地区の身近な環境の評価＞

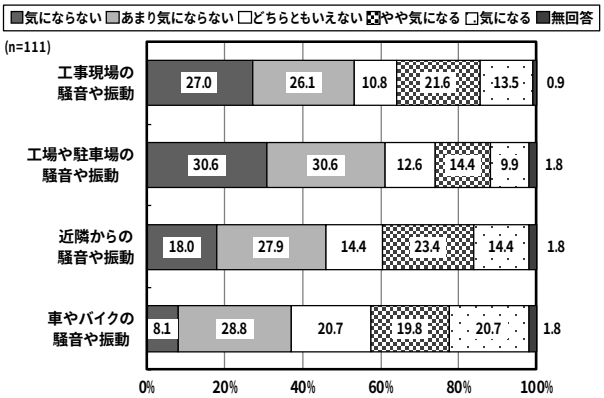
【問１】東部地区の身近な環境



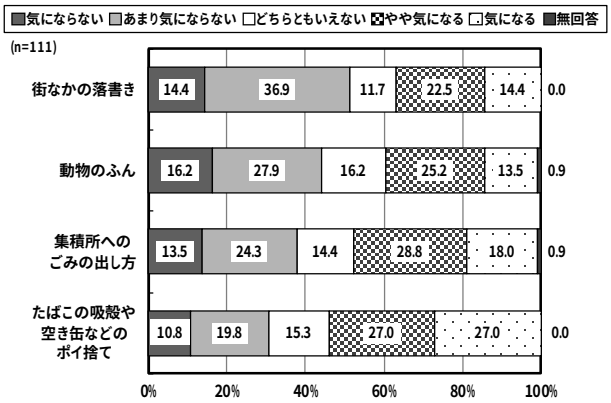
【問４（１）】空気のきれいさ



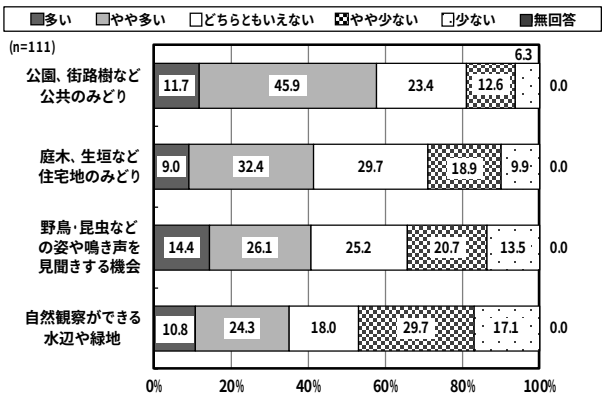
【問４（２）】まちの静けさ（騒音や振動）



【問４（３）】まちの清潔さやきれいさ



【問４（４）】自然やみどりの豊かさ



《 中央地区 》

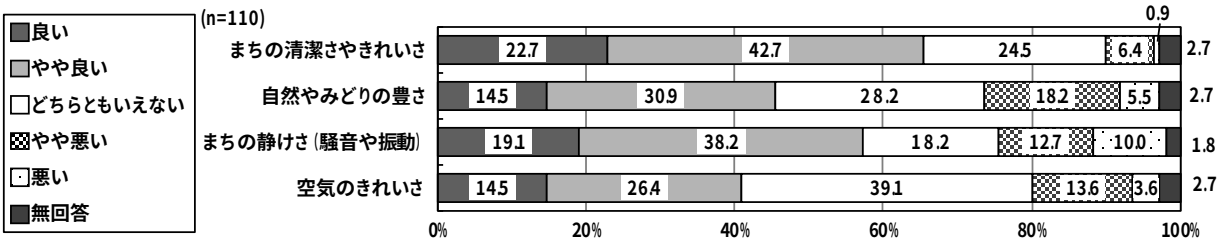
○ 問１における身近な環境４項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「まちの清潔さやきれいさ」（６５.４％）でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「自然やみどりの豊かさ」（２３.７％）でした。

○ 問１において評価の高かった「まちの清潔さやきれいさ」について、問４（３）を項目別に見ると、「街なかの落書き」の「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計（５３.６％）が高くなっています。

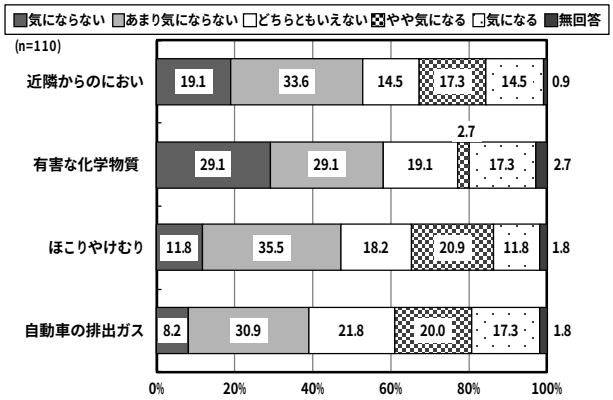
○ 問１において評価の低かった「自然やみどりの豊かさ」について、問４（４）を項目別にみると、「自然観察ができる水辺や緑地」の「やや少ない」・「少ない」の割合の合計（５７.３％）が高くなっています。

＜中央地区の身近な環境の評価＞

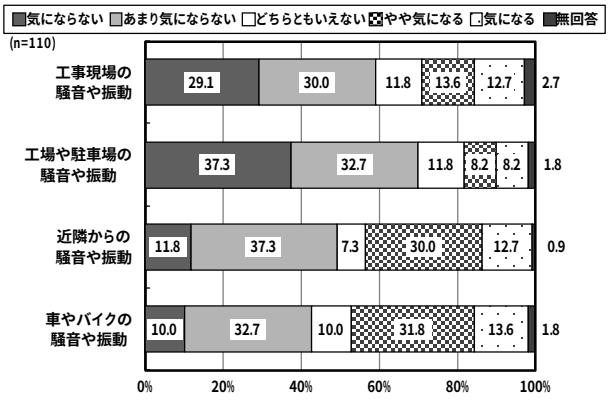
【問１】中央地区の身近な環境



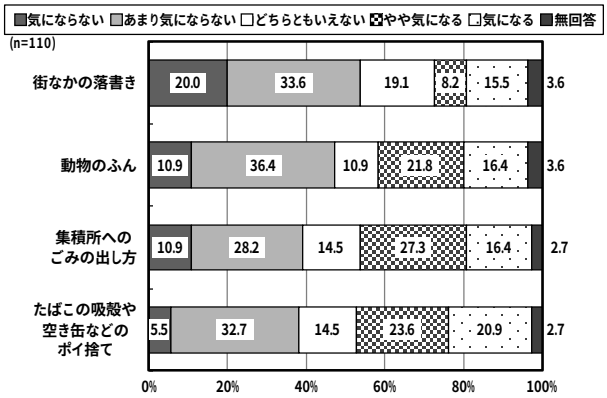
【問４（１）】空気のきれいさ



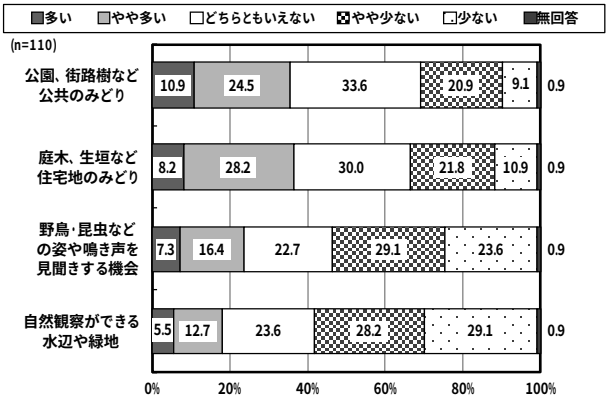
【問４（２）】まちの静けさ（騒音や振動）



【問４（３）】まちの清潔さやきれいさ



【問４（４）】自然やみどりの豊かさ

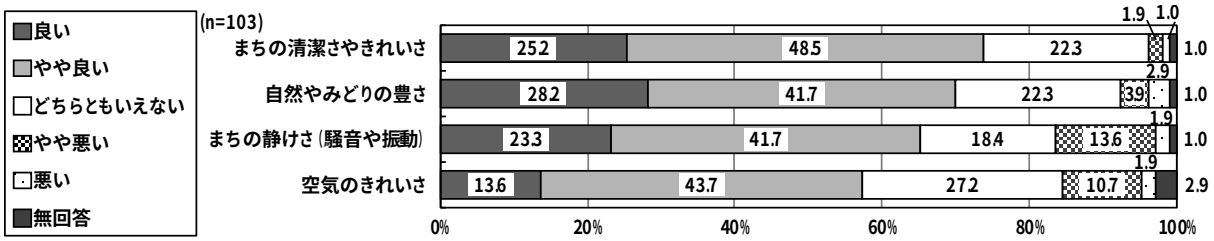


《 南部地区 》

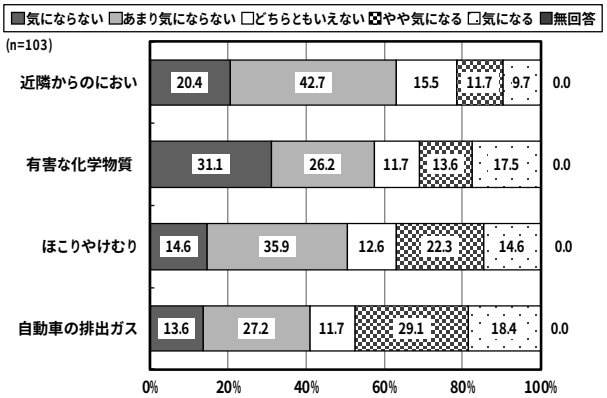
○ 問１における身近な環境４項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「まちの清潔さやきれいさ」（７３.７％）でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ（騒音や振動）」（１５.５％）でした。
○ 問１において評価の高かった「まちの清潔さやきれいさ」について、問４（３）を項目別に見ると、「街なかの落書き」の「気にならない」・「あまり気にならない」の割合の合計（５８.２％）が高くなっています。
○ 問１において評価の低かった「まちの静けさ（騒音や振動）」について、問４（２）を項目別にみると、「車やバイクの騒音や振動」の「気になる」・「やや気になる」の割合の合計（４０.８％）が高くなっています。

＜南部地区の身近な環境の評価＞

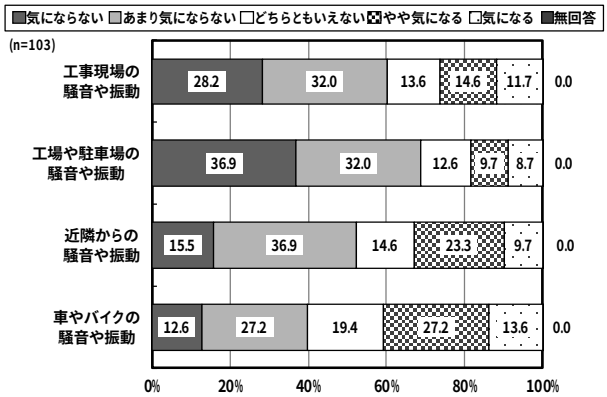
【問１】南部地区の身近な環境



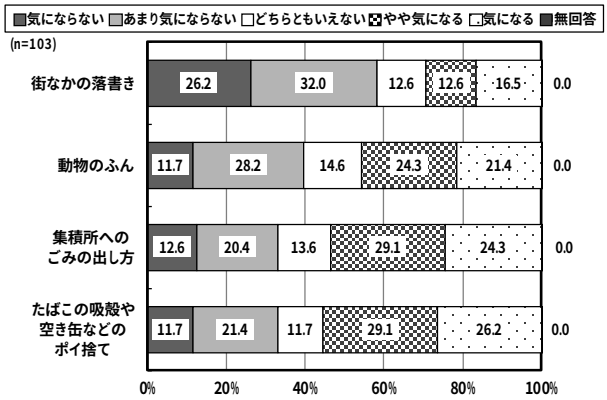
【問４（１）】空気のきれいさ



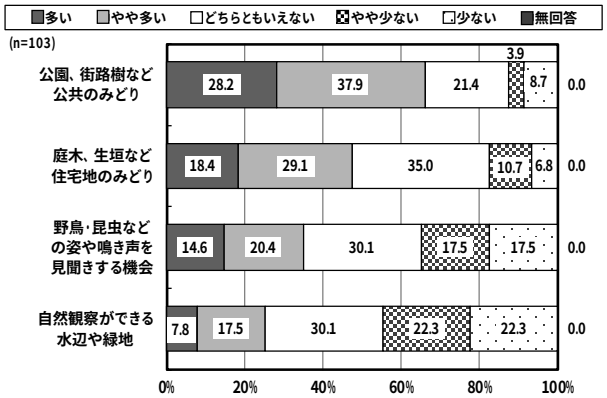
【問４（２）】まちの静けさ（騒音や振動）



【問４（３）】まちの清潔さやきれいさ



【問４（４）】自然やみどりの豊かさ

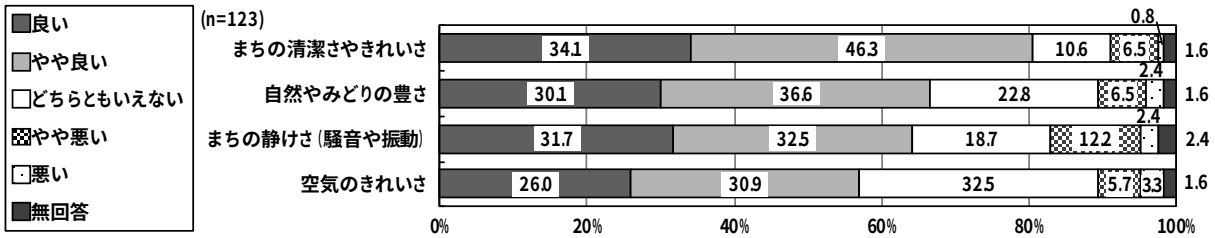


《 西部地区 》

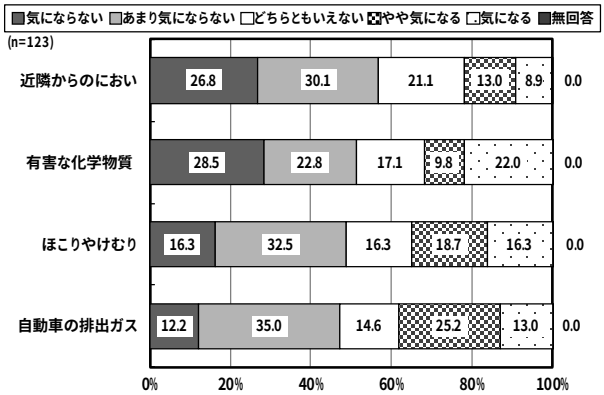
○ 問１における身近な環境４項目の中で、「良い」・「やや良い」の割合の合計が高い項目は、「まちの清潔さやきれいさ」（８０.４％）でした。一方、「やや悪い」・「悪い」の割合の合計が高い項目は、「まちの静けさ（騒音や振動）」（１４.６％）でした。
○ 問１において評価の高かった「まちの清潔さやきれいさ」について、問４（３）を項目別にみると、「街なかの落書き」の項目の「気にならない」「あまり気にならない」に回答した割合の合計（５９.３％）が高くなっています。
○ 問１において評価の低かった「まちの静けさ（騒音や振動）」について、問４（２）を項目別にみると、「車やバイクの騒音」の項目の「やや気になる」・「気になる」の割合の合計（４３.１％）が高くなっています。

＜西部地区の身近な環境の評価＞

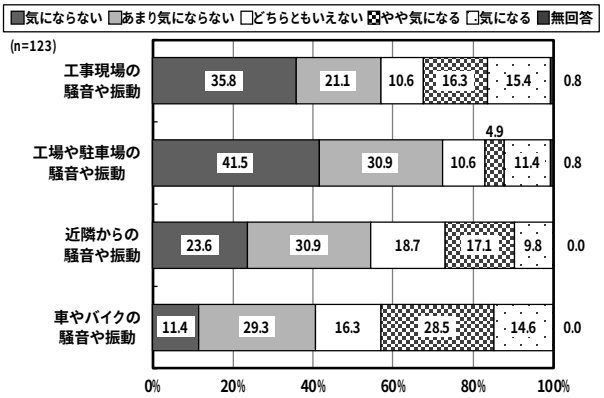
【問１】西部地区の身近な環境



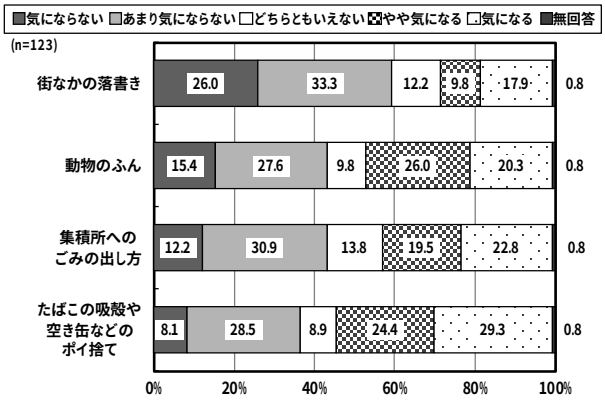
【問４（１）】空気のきれいさ



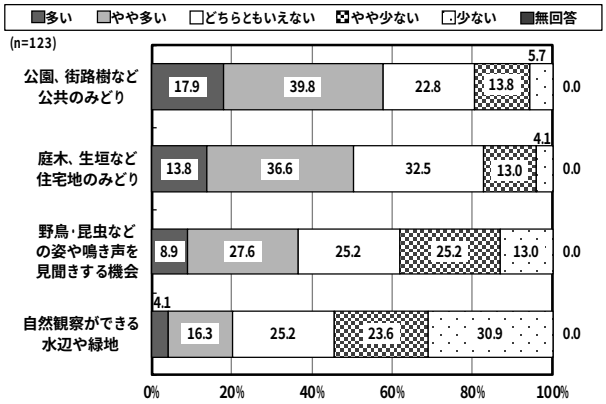
【問４（２）】まちの静けさ（騒音や振動）



【問４（３）】まちの清潔さやきれいさ



【問４（４）】自然やみどりの豊かさ



年齢別等から見た環境にやさしい行動

問７　あなたは「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。

（年齢別集計）

○ 年齢別に取組の実施率を見ると、４０歳代～７０歳代が単純集計値を上回る項目が多くあり、環境にやさしい行動に取り組んでいることがうかがえます。
○ ２０１７（平成２９）年度と比較すると、「『家庭でできる環境にやさしい行動』について話し合い、実践する」「地域の環境活動に参加する」がすべての年代で増加しています。

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ｉ」の取組状況＞

家庭でできる環境にやさしい行動Ｉ	18～29 歳 (n=58)	30～39 歳 (n=96)	40～49 歳 (n=115)	50～59 歳 (n=81)	60～69 歳 (n=82)	70 歳以上 (n=107)	単純集計値 (n=539)
ごみの分別を徹底する	100.0	96.9	100.0	100.0	98.8	96.3	98.5
びん･缶･ペットボトル･古紙などを資源回収に出す	96.6	100.0	99.1	100.0	97.6	97.2	98.5
ものを大切にし、できるだけ長く使用する	100.0	99.0	98.3	98.8	96.3	97.2	98.2
使用していない場所の照明はこまめに消す	93.1	93.8	95.7	96.3	93.9	93.5	94.4
車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	93.1	95.8	94.8	90.1	97.6	88.8	93.3
再生品や詰め替え商品を購入する	91.4	92.7	98.3	98.8	91.5	78.5	91.6
身近に生息している生きものや植物を大切にする	89.7	88.5	87.8	90.1	89.0	88.8	88.8
マイバッグを利用する	62.1	70.8	77.4	82.7	78.0	79.4	75.9
冷暖房の設定を夏は室温２８℃、冬は室温２０℃をめやすにする	60.3	74.0	72.2	70.4	72.0	85.0	73.5
庭やベランダなどに植木や鉢植えを設ける	39.7	50.0	54.8	71.6	73.2	84.1	63.5
使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	62.1	57.3	67.0	70.4	57.3	65.4	63.4
洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	27.6	56.3	51.3	67.9	70.7	81.3	61.0
エコドライブを実践する	36.2	56.3	54.8	54.3	69.5	34.6	51.2
洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	31.0	35.4	47.0	40.7	42.7	46.7	41.5
「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合い、実践する	12.1	28.1	37.4	42.0	37.8	38.3	33.9
家庭で二酸化炭素削減･省エネプログラムに取り組む	27.6	24.0	22.6	39.5	45.1	37.4	32.3
地域の環境活動に参加する	3.4	9.4	15.7	9.9	22.0	27.1	15.6
環境に関するイベントや環境学習会、自然観察会などに参加し、環境について学ぶ	6.9	15.6	10.4	7.4	17.1	21.5	13.7
雨水を貯めて再利用する	1.7	0.0	5.2	6.2	8.5	6.5	4.8

※ 表中の数値は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合（%）を示します。網掛けは、単純集計値よりも高い回答割合を示します。

（世帯構成別集計）

○ 「一人暮らし」は、すべての項目について、単純集計値よりも取り組んでいる人の割合が低くなっています。
○ 「二世代家族」は、すべての項目について、取り組んでいる人の割合が単純集計値よりも高くなっており、環境にやさしい行動に関して意識が高いことがうかがえます。

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組状況＞

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ	一人暮らし (n=97)	夫婦のみ (n=127)	二世代家族 (n=250)	三世代家族 (n=35)	その他 (n=24)	単純集計値 (n=539)
省エネタイプの家電製品を使用する	89.7	90.6	94.8	94.3	83.3	92.4
ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯を使用する	86.6	92.9	92.8	97.1	91.7	92.1
環境にやさしい自動車（低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車）を購入する	22.7	39.4	45.2	57.1	41.7	40.2
屋上緑化や壁面緑化（みどりのカーテン等）をする	18.6	22.8	30.4	40.0	29.2	27.1
排熱を利用した空調機・給湯器・電池等の機器（ガス、電気）を取り付ける	14.4	12.6	24.0	17.1	29.2	19.5
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	9.3	7.1	11.2	28.6	8.3	10.9

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合（%）を示します。
網掛けは、単純集計値（世帯構成の無回答６人を含む。）よりも高い回答割合を示します。

（住宅の種類別集計）

○ 「一戸建て」は、すべての項目について「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合が単純集計値より高くなっています。
○ マンション・アパートでは、すべての項目について、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合が単純集計値より低くなっており、ハード面の対策の取組が難しい状況がうかがえます。

＜「家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ」の取組状況＞

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ	一戸建て (n=198)	マンション・アパート (n=258)	その他 (n=13)	単純集計値 (n=539)
省エネタイプの家電製品を使用する	93.9	91.1	84.6	92.4
ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯を使用する	93.4	90.7	76.9	92.1
環境にやさしい自動車（低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車）を購入する	44.9	35.3	38.5	40.2
屋上緑化や壁面緑化（みどりのカーテン等）をする	35.9	20.5	23.1	27.1
排熱を利用した空調機・給湯器・電池等の機器（ガス、電気）を取り付ける	32.8	10.9	23.1	19.5
太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	17.7	5.8	0.0	10.9

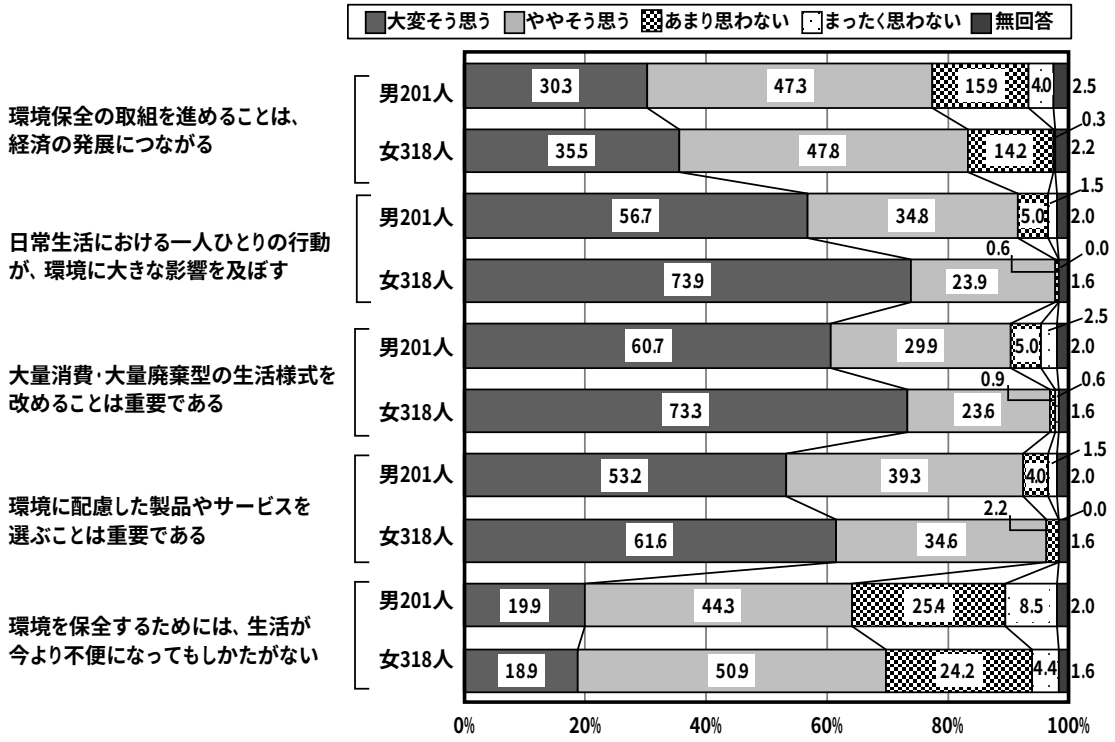
※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合（%）を示します。
網掛けは、単純集計値（住宅の種類の無回答 70 人を含む。）よりも高い回答割合を示します。

性別・年齢から見た環境と経済に関する意見

問１２　環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。

（性別集計）

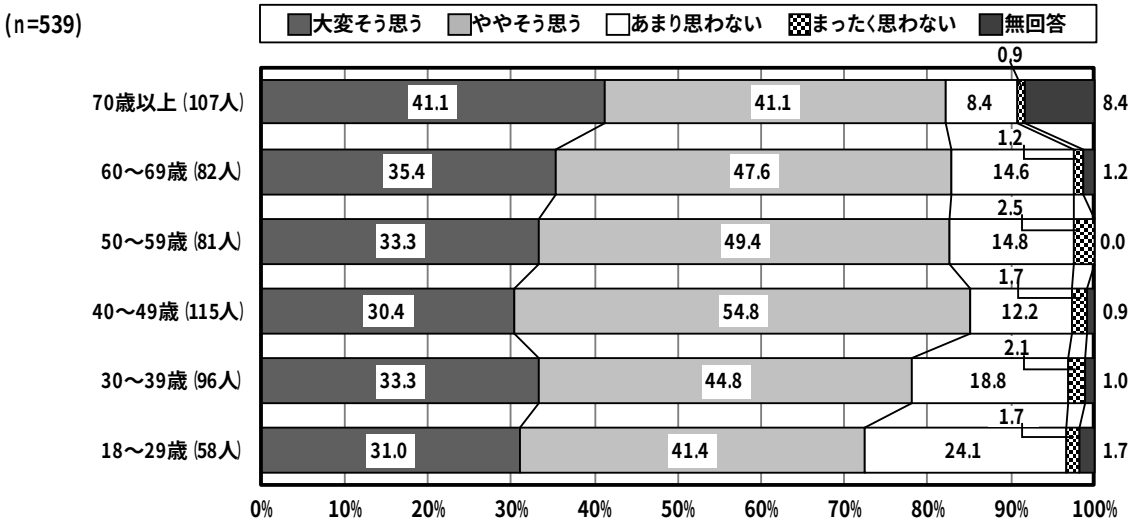
○ すべての項目について、女性のほうが「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が高くなっています。
○ 「環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない」という項目は、男女ともに「大変そう思う」の割合が低くなっています。



（年齢別集計）

＜環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる＞

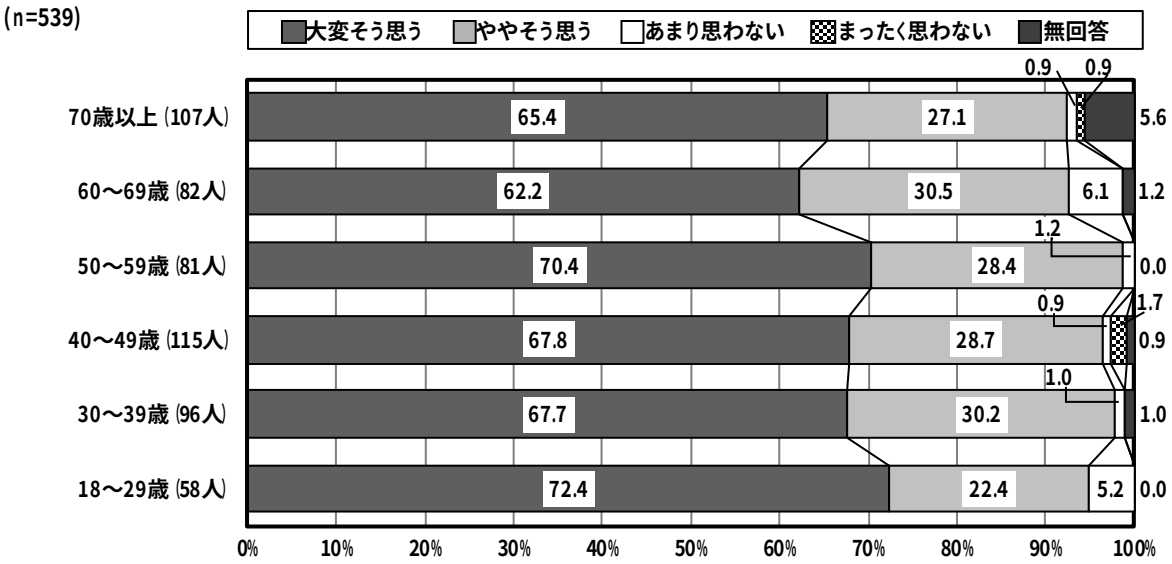
○「大変そう思う」の割合は、「７０歳以上」で最も高くなっています。
○「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計は、「４０歳以上」で高くなっています。



資料編

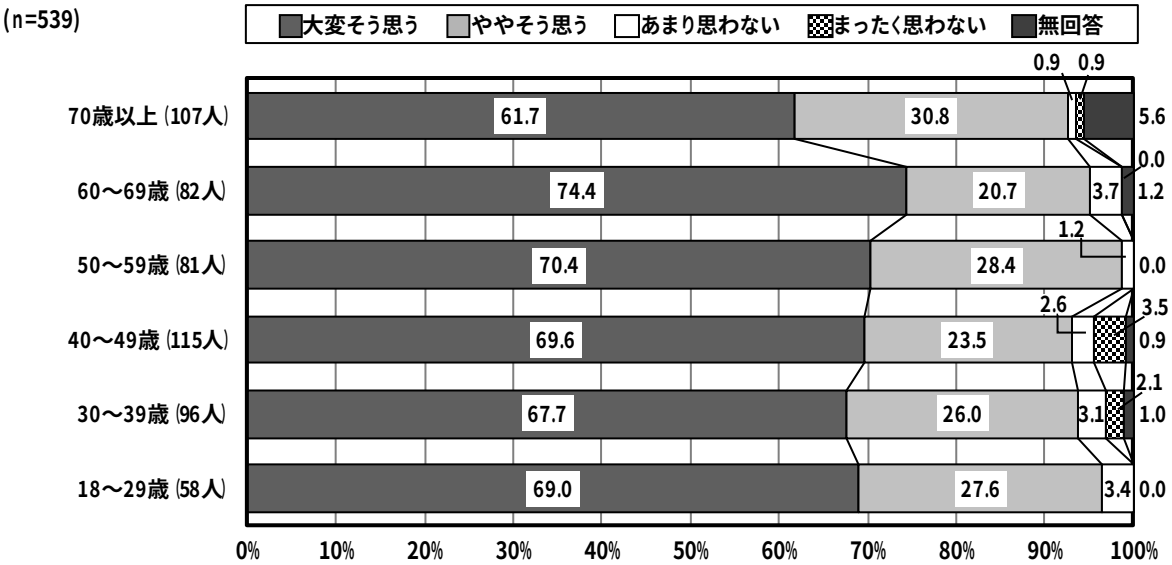
＜日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす＞

○「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計は、「３０歳代～５０歳代」で高くなっています。
○ すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が、９割を超えています。



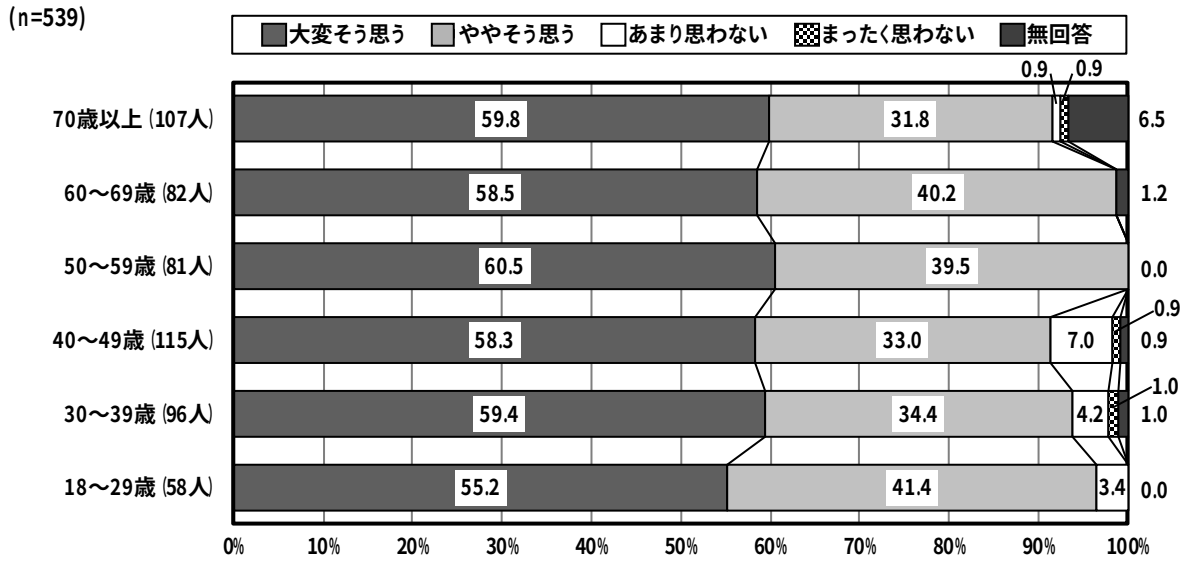
＜大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である＞

○「大変そう思う」の割合は、「６０歳代」で高くなっています。
○ すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が、９割を超えています。



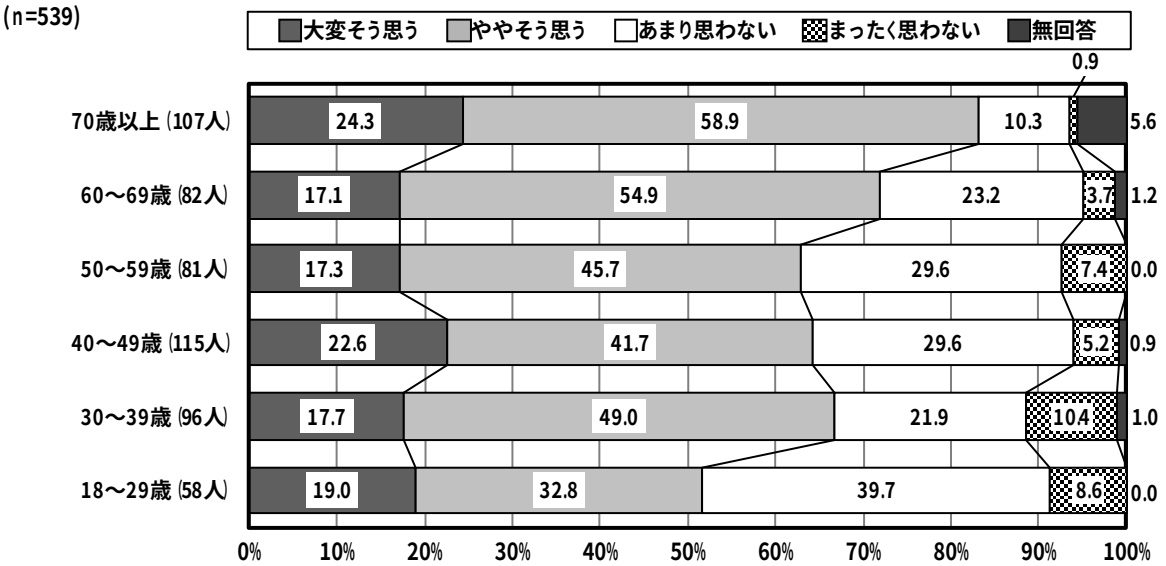
＜環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である＞

○ すべての年代で、「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計が９割を超えています。



＜環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない＞

○「大変そう思う」の割合は、「４０歳代、７０歳以上」で高くなっています。
○「大変そう思う」・「ややそう思う」の割合の合計は、すべての世代で５０％以上になっています。



資料編

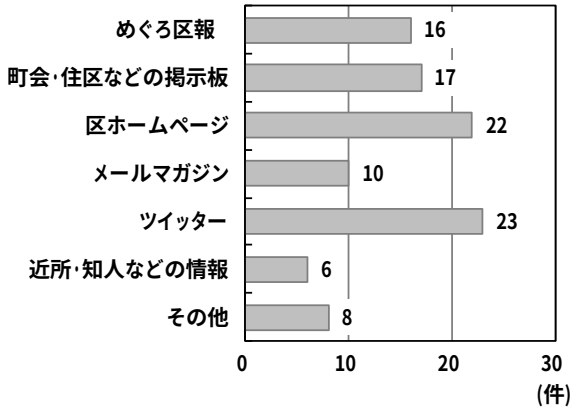
年齢別から見た環境情報の接触媒体

問１６　区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

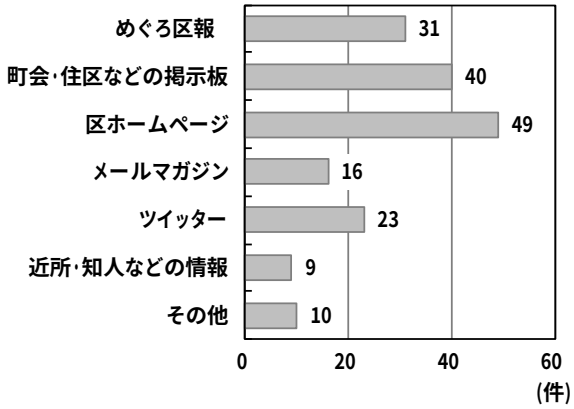
（年齢別集計）

○　３０歳代以上で、「めぐろ区報」「町会・住区などの掲示板」「区ホームページ」の利用意向が高く、特に４０歳代以上では、「めぐろ区報」の利用意向が最も高くなっています。

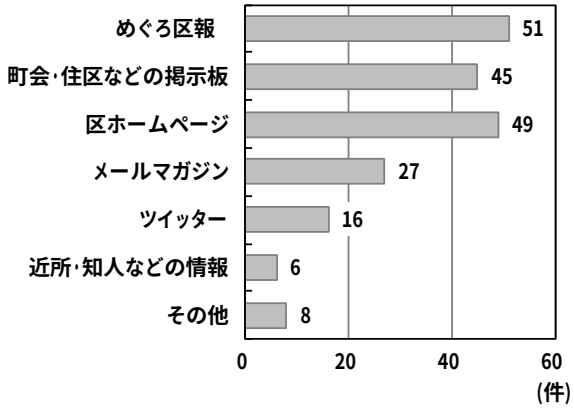
＜18～29 歳（58 人）＞



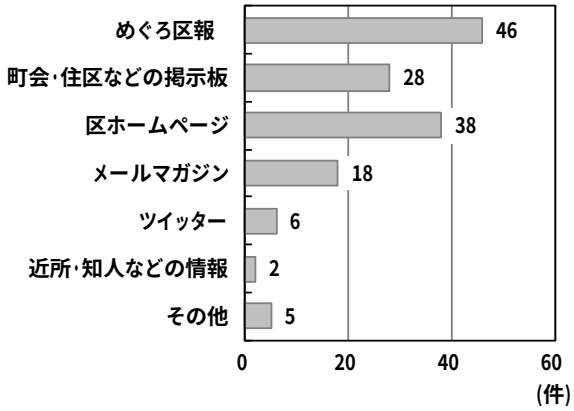
＜30～39 歳（96 人）＞



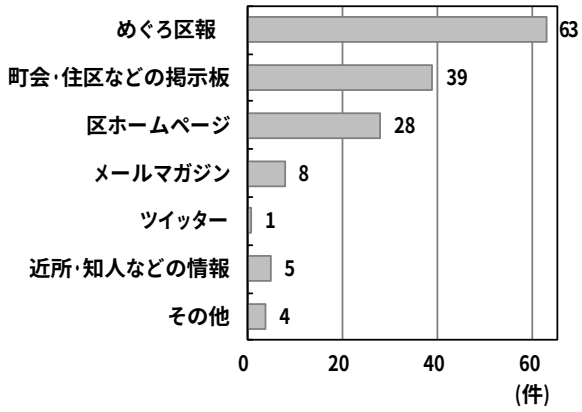
＜40～49 歳（115 人）＞



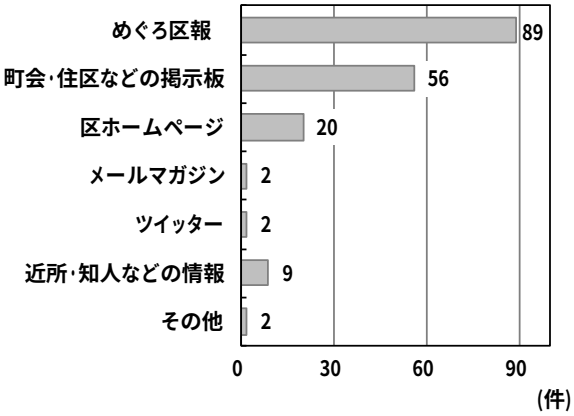
＜50～59 歳（81 人）＞



＜60～69 歳（82 人）＞



＜70 歳以上（107 人）＞



自由記述

<回答者数：２２０人、延べ回答件数：２８７件>

目黒区環境基本計画の基本方針	件数	意見の分類	件数
１　地球温暖化対策を推進する	5	低炭素のライフスタイルへの転換	3
		エネルギーを賢く使う暮らしの創造	1
		気候変動への適応策の推進	1
２　ものを大切にして循環型社会を実現する	５４	ごみをつくり出さない意識の醸成	3
		ごみの減量と資源化の推進	１２
		ごみの適正処理の推進	３９
３　みどりをはぐくみエコロジカルネットワークを形成する	３８	拠点となるみどりの保全と創出	１３
		身近なみどりの保全と創出	２３
		都市の生物多様性の確保	2
４　健康で快適に暮らせる生活環境を確保する	１２０	大気・水・土壌環境の保全	２１
		身近な環境問題への対応	２７
		住み心地のよい生活環境の確保	７２
５　環境を守りはぐくむ人を育てる	２２	環境教育・学習の機会の充実	１７
		環境保全活動の推進	5
		ネットワークの形成	0
その他	４８	環境に関するその他の事項について	１３
		環境以外の区の施策について	２８
		その他	7

環境に関するアンケート調査票

1．現在お住まいの身近な環境についてお聞きします。

問1．身近な環境について、どのように感じていますか。（それぞれ○を1つ）

項目	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
記入例）	①	2	3	4	5
空気のきれいさ	1	2	3	4	5
まちの静けさ（騒音や振動）	1	2	3	4	5
まちの清潔さやきれいさ	1	2	3	4	5
自然やみどりの豊かさ	1	2	3	4	5

問2．（ア）お住まいの近くに川や池がありますか。（○を1つ）

1．はい　　⇒（イ）へ
2．いいえ　⇒ 問3　へ

（イ）お住まいの近くに川や池がある方にお聞きします。（それぞれ○を1つ）

項目	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
水のきれいさ	1	2	3	4	5
水のにおい	1	2	3	4	5
水辺（周辺を含む）のきれいさ	1	2	3	4	5

問3．身近な環境について、あなたが最も重要と思う項目はどれですか。（○を1つ）

1．空気のきれいさ　　2．まちの静けさ（騒音や振動）
3．まちの清潔さやきれいさ　　4．自然やみどりの豊かさ
5．その他（　　）

問４．身近な環境について、日頃どのように感じていますか。（それぞれ○を１つ）

（１）空気のきれいさについて

項目	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
自動車の排出ガス	1	2	3	4	5
ほこりやけむり	1	2	3	4	5
近隣からのにおい	1	2	3	4	5
有害な化学物質（アスベスト、ダイオキシン類など）	1	2	3	4	5

（２）まちの静けさ（騒音や振動）について

項目	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
近隣からの騒音や振動	1	2	3	4	5
車やバイクの騒音や振動	1	2	3	4	5
工場や駐車場の騒音や振動	1	2	3	4	5
工事現場の騒音や振動	1	2	3	4	5

（３）まちの清潔さやきれいさについて

項目	気にならない	あまり気にならない	どちらともいえない	やや気になる	気になる
動物のふん	1	2	3	4	5
たばこの吸殻や空き缶などのポイ捨て	1	2	3	4	5
集積所へのごみの出し方	1	2	3	4	5
街なかの落書き	1	2	3	4	5

（４）自然やみどりの豊かさについて

項目	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない
公園、街路樹など公共のみどり	1	2	3	4	5
庭木、生垣など住宅地のみどり	1	2	3	4	5
野鳥・昆虫などの姿や鳴き声を見聞きする機会	1	2	3	4	5
自然観察ができる水辺や緑地	1	2	3	4	5

問５．身近な環境について、総合的に見てどのように感じていますか。（○を１つ）

１．良い	２．やや良い	３．どちらともいえない	４．やや悪い	５．悪い

問６．問５で回答した理由をご記入ください。（問５で「3.どちらともいえない」を選んだ方は、回答不要です）

問５で、１または２を選択した方は「良い」と思う理由や場所を、４または５を選択した方は「悪い」と思う理由や場所をお書きください。

２．環境にやさしい行動の取組状況についてお聞きします。

問７．あなたは次のアからノの「家庭でできる環境にやさしい行動」を、普段どの程度行っていますか。（それぞれ○を１つ）

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ	いつもしている	時々している	していない（今後もしない）	していない（本当はしたい）
記入例）	①	2	3	4
ア．マイバッグを利用する	1	2	3	4
イ．再生品や詰め替え商品を購入する	1	2	3	4
ウ．ものを大切にし、できるだけ長く使用する	1	2	3	4
エ．ごみの分別を徹底する	1	2	3	4
オ．びん・缶・ペットボトル・古紙などを資源回収に出す	1	2	3	4
カ．洗剤の使用を控え、汚水を流さないようにする	1	2	3	4
キ．洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	1	2	3	4
ク．雨水を貯めて再利用する	1	2	3	4
ケ．使用していない場所の照明はこまめに消す	1	2	3	4
コ．使用していない時は、コンセントから電源プラグを抜く	1	2	3	4
サ．冷暖房の設定を夏は室温28℃、冬は室温20℃をめやすにする	1	2	3	4

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅰ	いつも している	時々 している	していない 〔今後も しない〕	していない 〔本当は したい〕
シ．エコドライブを実践する	1	2	3	4
ス．車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	1	2	3	4
セ．庭やベランダなどに植木や鉢植えを設ける	1	2	3	4
ソ．身近に生息している生きものや植物を大切にする	1	2	3	4
タ．環境に関するイベントや環境学習会、自然観察会などに参加し、環境について学ぶ	1	2	3	4
チ．「家庭でできる環境にやさしい行動」について、話し合い、実践する	1	2	3	4
ツ．家庭で二酸化炭素削減・省エネプログラムに取り組む	1	2	3	4
テ．地域の環境活動（町会・サークルなどが行う道路や公園などの清掃・緑化活動、ごみ減量やリサイクル活動など）に参加する	1	2	3	4

家庭でできる環境にやさしい行動Ⅱ	すでに 購入・設置 している	購入・設置 を検討中	購入・設置 をしない	購入・設置 できない
ト．ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯を使用する	1	2	3	4
ナ．省エネタイプの家電製品を使用する	1	2	3	4
ニ．環境にやさしい自動車（低燃費車・ハイブリッド車・電気自動車）を購入する	1	2	3	4
ヌ．屋上緑化や壁面緑化（みどりのカーテンなど）をする	1	2	3	4
ネ．太陽光発電システムや太陽熱利用システムを取り付ける	1	2	3	4
ノ．排熱を利用した空調機・給湯器・電池などの機器（ガス、電気）を取り付ける	1	2	3	4

問８．あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。（いくつでも○）

１．時間や手間がかかる	２．情報不足・やり方がわからない
３．費用がかかる	４．効果がよくわからない
５．必要性を感じない	６．その他（　　）

問９．あなたは、昨年１年間に省エネルギーを意識して電気、ガス、水道、ガソリン（自動車）の使用量削減に取り組みましたか。（それぞれ○を１つ）

	常に意識して取り組んだ	ときどき取り組んだ	意識はあったが取り組まなかった	意識はなく、取り組まなかった
電　気	1	2	3	4
ガ　ス	1	2	3	4
水　道	1	2	3	4
ガソリン（自動車） ※自動車をお持ちの方のみ	1	2	3	4

問１０．あなたの世帯の電気・ガス・水道・ガソリン（自動車）の昨年１年間の使用量は、その前の１年間と比べて、どのように変化していますか。（それぞれ○を１つ）

	減っている	変わらない	増えている	わからない
電　気	1	2	3	4
ガ　ス	1	2	3	4
水　道	1	2	3	4
ガソリン（自動車） ※自動車をお持ちの方のみ	1	2	3	4

問１１（ア）あなたの世帯では、昨年１年間で省エネルギーを意識して家電や自動車の買い替え、再生可能エネルギー機器の導入をしましたか。（○を１つ）

1．はい　　⇒（イ）へ
2．いいえ　　⇒ 問１２　へ

（イ）「はい」と答えた方（問１１（ア）で１を選んだ方）のみにお聞きします。具体的に買い替え、導入したものは何ですか。（いくつでも○）

1．照明器具（ＬＥＤ電球など）　2．冷蔵庫　3．エアコン
4．テレビ　5．給湯器　6．温水洗浄便座
7．自動車　8．太陽光発電システム
9．太陽熱利用システム　10．その他（　　）

問１２．環境と経済に関する各意見について、あなたの考えに近いものはどれですか。
（それぞれ○を１つ）

項目	大変そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	1	2	3	4
日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼす	1	2	3	4
大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である	1	2	3	4
環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要である	1	2	3	4
環境を保全するためには、生活が今より不便になってもしかたがない	1	2	3	4

３．目黒区で行っている環境保全活動についてお聞きします。

問１３（ア）区では、枠内に示すような環境保全に関する取組・支援を行っています。これらの取組に参加したことがありますか。（いくつでも○）

１．めぐろグリーンアクションプログラム　２．太陽光発電システムなどの設置費助成の利用
３．環境推進員（環境ナビゲーター）養成講座　４．環境学習会・環境講演会
５．いきもの発見隊　６．グリーンクラブ活動
７．目黒川クリーンアップ大作戦　８．その他（　　）
（１～８を選んだ方 ⇒問１４へ）

９．どれにも参加したことがない　⇒（イ）へ

（イ）どれにも参加したことがない方（問１３（ア）で９を選んだ方）のみにお聞きします。参加できない理由は何ですか。（いくつでも○）

１．興味・関心が持てる活動や団体がないから　２．参加する時間がないから
３．交通費や年会費などの費用がかかるから　４．１人では参加しにくいから
５．どのくらい環境保全に役立つかわからないから　６．活動があることを知らないから
７．その他（　　）

問１４．今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。
（いくつでも○）

１．家庭における二酸化炭素削減プログラム　２．新エネルギー・省エネルギー機器の設置
３．環境に関する学習会や講演会　４．野鳥や草花などの自然観察会や調査
５．緑地や学校などでの生きものの生息環境づくり　６．住まい周辺の緑化活動
７．ごみの減量やリサイクル活動　８．道路や公園などの清掃・ごみ拾い
９．その他（　　）

問１５．区から発信される環境情報のうち、どのような情報の充実を望みますか。
（いくつでも○）

１．大気・水質・騒音、放射線測定などの観測情報	２．環境学習会や講演会に関する情報
３．動植物のみられる時季や場所に関する情報	４．ごみの分別や不用品に関する情報
５．まちの美化や清掃活動に関する情報	６．省エネルギーに関するアイディア情報
７．環境に関する活動・取組を支援する補助金情報	
８．その他（　　）	

問１６．区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。
（いくつでも○）

１．区ホームページ	２．メールマガジン	３．ツイッター
４．めぐろ区報	５．町会・住区などの掲示板	６．近所・知人などの情報
７．その他（　　）		

問１７．「めぐろスマートライフ」ホームページについてお聞きします。

（ア）区では、生活に密着した身近な情報を発信しながら、環境に負荷の少ない心地良い暮らしを提案する「めぐろスマートライフ」ホームページを平成２７年４月に開設しました。このホームページを知っていますか。（○を１つ）

１．はい	２．いいえ

（イ）「めぐろスマートライフ」では、現在次のような情報を発信しています。エコなライフスタイルを送るために、今後どの情報の充実を望みますか。（いくつでも○）

１．食に関するアイディア情報	２．暮らし全般に関するアイディア情報
３．省エネに関する情報	４．その他（　　）

問１８．リサイクルに関するルールや制度についてお聞きします。（それぞれ○を１つ）

項目	よく内容を知っている	多少の内容は知っている	名前くらいしか知らない	名前も知らない
めぐろ買い物ルール	1	2	3	4
小型家電回収	1	2	3	4

～ ルールや制度について ～

めぐろ買い物ルール

ごみをつくり出さない工夫や啓発を積極的に行うことを実現するため、平成１８年３月に策定しました。

小型家電回収

限りある資源を有効に活用するため、携帯電話など小型家電（９品目）の回収を平成２６年４月から開始しました。

問１９．目黒区の施策に関する満足度をお聞きします。（それぞれ○を１つ）

項目	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
環境に関する情報提供	1	2	3	4	5
環境教育・学習の場や機会の提供	1	2	3	4	5
温暖化対策・省エネルギーに関する施策	1	2	3	4	5
ごみの減量・リサイクルに関する施策	1	2	3	4	5

４．最後にあなたご自身のことについてお聞きします。（それぞれ○を１つ）

	回答欄
性別	１．男性　２．女性
年齢（満年齢）	１．１８～２９歳　２．３０～３９歳　３．４０～４９歳 ４．５０～５９歳　５．６０～６９歳　６．７０歳以上
職業	１．会社員などの勤め人　２．自営業　３．自由業 ４．家事専業　５．パート・アルバイト　６．学生 ７．無職　８．その他
世帯の構成	１．一人暮らし　２．夫婦のみ　３．二世代家族（親と子） ４．三世代家族（親と子と孫）　５．その他
居住地区	１．北部地区　（駒場住区、菅刈住区、東山住区、烏森住区） ２．東部地区　（中目黒住区、田道住区、下目黒住区、不動住区） ３．中央地区　（上目黒住区、油面住区、五本木住区、鷹番住区） ４．南部地区　（月光原住区、向原住区、碑住区、原町住区、大岡山東住区） ５．西部地区　（大岡山西住区、中根住区、自由が丘住区、八雲住区、東根住区）
目黒区居住年数	１．１年未満　２．１～５年　３．６～１０年 ４．１１～２０年　５．２１～３０年　６．３１年以上
住宅の種類	１．一戸建て　２．マンション・アパート　３．その他

５．身近な環境に対して日頃感じていることや目黒区の環境行政について、ご意見やご提案がございましたらご記入ください。

アンケート調査は、これで終わりです。ご協力ありがとうございました。
記入もれがないかもう一度お確かめの上、**６月２０日（水）まで**に同封の
返信用封筒（切手不要）に入れ、お近くの郵便ポストへ入れてください。

環境行政をめぐる動き

環境をとりまく状況は、めまぐるしく変化しています。世界や国、都の動向にあわせ、区では次頁の表に示すような取組を進めてきました。特に近年では、次のような環境問題の重要性が高まっています。

第五次環境基本計画（平成３０年４月１７日閣議決定）

第五次環境基本計画は、ＳＤＧｓ、パリ協定採択後に初めて策定された国の環境基本計画です。ＳＤＧｓの考え方も活用しながら、分野横断的な６つの「重点戦略」を設定し、環境政策による経済社会システム、ライフスタイル、技術などあらゆる観点からのイノベーションの創出や、経済・社会的課題の「同時解決」を実現し、将来に渡って質の高い生活をもたらす「新たな成長」につなげていくこととしています。

さらに、その中で、地域の活力を最大限に発揮する「地域循環共生圏」の考え方を新たに提唱し、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う取組を推進していくこととしています。

①持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築

○ESG投資、グリーンボンド等の普及・拡大
○税制全体のグリーン化の推進
○サービサイジング、シェアリング・エコノミー
○再エネ水素、水素サプライチェーン
○都市鉱山の活用 など

洋上風力発電施設

②国土のストックとしての価値の向上

○気候変動への適応も含めた強靭な社会づくり
○生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）
○森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の活用も含めた森林整備・保全
○コンパクトシティ・小さな拠点＋再エネ・省エネ
○マイクロプラスチックを含めた海洋ごみ対策 など

土砂崩壊防備保安林

③地域資源を活用した持続可能な地域づくり

○地域における「人づくり」
○地域における環境金融の拡大
○地域資源・エネルギーを活かした収支改善
○国立公園を軸とした地方創生
○都市も関与した森・里・川・海の保全再生・利用
○都市と農山漁村の共生・対流 など

バイオマス発電所

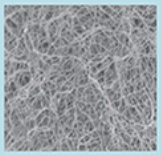
④健康で心豊かな暮らしの実現

○持続可能な消費行動への転換（倫理的消費、COOL CHOICEなど）
○食品ロスの削減、廃棄物の適正処理の推進
○低炭素で健康な住まいの普及
○テレワークなど働き方改革＋CO_2・資源の削減
○地方移住・二地域居住の推進＋森・里・川・海の管理
○良好な生活環境の保全 など

森里川海のつながり

⑤持続可能性を支える技術の開発・普及

○福島イノベーション・コースト構想（再エネ由来水素、浮体式洋上風力など）
○自動運転、ドローン等の活用による「物流革命」
○バイオマス由来の化成品創出（セルロースナノファイバーなど）
○AI等の活用による生産最適化 など


セルロースナノファイバー

⑥国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築

○環境インフラの輸出
○適応プラットフォームを通じた適応支援
○温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」シリーズ
○「課題解決先進国」として海外における「持続可能な社会」の構築支援 など

日中省エネ・環境フォーラム

＜第五次環境基本計画の６つの重点戦略＞

出典：平成３０年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

＜地域循環共生圏の概念図＞

出典：平成３０年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

WEB

平成３０年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書（ＨＴＭＬ版）

＜環境行政をめぐる区の動きおよび世界・日本・東京都の動き＞

年度	区の動き	★：世界の動き　●：国の動き　○：東京都の動き
２００８年度 (平成２０年度)	ＩＳＯ１４００１認証返上	●「生物多様性基本法」制定 ●「エネルギーの使用の合理化に関する法律」改正 ●「地球温暖化対策推進法」改正（地方公共団体実行計画の充実など） ●「低炭素社会づくり行動計画」策定
２００９年度 (平成２１年度)	「目黒区景観計画」策定 目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）策定	○「東京都地球温暖化対策指針」改正 ○「東京都エネルギー有効利用指針」制定
２０１０年度 (平成２２年度)	「目黒区総合治水対策基本計画」改定 「目黒区環境学習推進計画」改定	★ＣＯＰ-ＣＢＤ※1１０開催 （「名古屋-クアラルンプール補足議定書」、「愛知ターゲット」、「名古屋議定書」採択） ○「首都圏キャップ＆トレード制度」協定締結 ○「緑確保の総合的な方針」策定
２０１１年度 (平成２３年度)	**「目黒区環境基本計画」改定** **（重点プロジェクトの変更など）** 「目黒区景観計画」改定	★ＣＯＰ-ＦＣＣＣ※2１７開催
２０１２年度 (平成２４年度)	－	★ＣＯＰ-ＦＣＣＣ１８開催 ★国連持続可能な開発会議（リオ＋２０）開催 ●「第四次環境基本計画」閣議決定 ●「生物多様性国家戦略２０１２-２０２０」閣議決定 ●「都市の低炭素化の促進に関する法律」制定 ○「緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」策定
２０１３年度 (平成２５年度)	「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画（めぐろエコ・プランⅡ）」改定 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画（第二次計画）」改定 「目黒区環境学習実行プラン」改定 「ささえあう生命の輪（いのちのわ）野鳥のすめるまちづくり計画」策定	★ＩＰＣＣ（国連気候変動に関する政府間パネル）が「5 次評価報告書」の第１作業部会報告書、第２作業部会報告書を公表 ★「水銀に関する水俣条約」採択 ●「地球温暖化対策推進法」改正（３ふっ化窒素《NF_3》の温室効果ガスへの追加など） ●「第三次循環型社会形成推進基本計画」閣議決定 ●「Ｊクレジット」制度の発足
２０１４年度 (平成２６年度)	－	★持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）に関するユネスコ世界会議開催 ★ＩＰＣＣ（国連気候変動に関する政府間パネル）が「5 次評価報告書」の第３作業部会報告書を公表 ★「名古屋議定書」発効 ●「水循環基本法」制定 ●「外来種被害防止行動計画」策定 ○「東京都長期ビジョン」策定
２０１５年度 (平成２７年度)	「目黒区みどりの基本計画」改定 「目黒区一般廃棄物処理基本計画～快適で誇りのもてる循環型のまち～」改定	★ＣＯＰ-ＦＣＣＣ２１開催「パリ協定」採択 ★国連持続可能な開発サミット開催（「持続可能な開発のための２０３０アジェンダ」採択） ●「建築物省エネ法」制定 ●「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」制定 ●「気候変動の影響への適応計画」閣議決定 ○「東京都環境基本計画」改定 ○「緑確保の総合的な方針」改定
２０１６年度 (平成２８年度)	**「目黒区環境基本計画」改定** **（重点的に取り組むテーマの設定など）**	★ＣＯＰ-ＦＣＣＣ２２開催「パリ協定」発効 ●「地球温暖化対策計画」閣議決定
２０１７年度 (平成２９年度)	－	★「水銀に関する水俣条約」発効

※１　ＣＯＰ-ＣＢＤ…生物多様性条約締約国会議。
※２　ＣＯＰ-ＦＣＣＣ…気候変動枠組条約締約国会議。

環境保全の施策に要した主な経費

基本方針１　地球温暖化対策を推進する

（単位：千円）

事業名	事業の内容	経費
地球温暖化対策事業	普及・啓発事業（住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費助成、クールチョイス普及営発事業、地域協議会運営、めぐろグリーンアクションプログラムなど）	１８,１５４

基本方針２　ものを大切にして循環型社会を実現する

（単位：千円）

事業名	事業の内容	経費
ごみ減量化のための普及啓発	３Ｒ推進キャンペーン、ＭＧＲ１００プロジェクト、広報誌・パンフレットの発行、めぐろ買い物ルール、環境学習など	２,９４８
拠点回収事業	回収量（乾電池１６ｔ、紙パック５ｔ、小型家電５ｔ）	５,５５３
分別回収の推進事業	回収量（びん3,０１０ｔ、缶８１２ｔ、ペットボトル1,０３０ｔ、資源プラスチック1,５４０ｔ、蛍光管など１１ｔ）	１,０４０,２２９
古紙回収（行政回収分）	古紙回収量２８３ｔ	４７,６７７
資源回収活動支援	資源回収活動実施団体支援３１２団体、資源回収量（古紙など）１１,９５２ｔ	４８,１０４

基本方針３　みどりをはぐくみエコロジカルネットワークを形成する

（単位：千円）

事業名	事業の内容	経費
公園・緑道等の整備	公園（改良）１か所、児童遊園（改良）１か所	１１５,０８４
みどりのまちなみ助成	接道部緑化２２件、屋上緑化６件、壁面緑化１件、保存樹木等助成３１７件	１１,１３５
グリーンクラブ事業	花苗配布等の支援９４団体	５,３６８

基本方針４　健康で快適に暮らせる生活環境を確保する

（単位：千円）

事業名	事業の内容	経費
環境調査	大気汚染常時監視、幹線道路の自動車公害調査、目黒川水質調査、光化学スモッグ対策、幹線道路沿いにおける窒素酸化物調査、地下水調査、一般大気中アスベスト調査、一般環境大気中のダイオキシン類調査委託、目黒川臭気分析委託	１５,０１１
総合治水対策の推進	雨水浸透桝３か所	１,３６１
放射線対策	空間放射線量測定、Ｎａｌ（Ｔｌ）シンチレーションサーベイメーター校正費	１７３
ポイ捨て、落書き対策	ポイ捨て禁止キャンペーン、落書き消去活動支援	９１５
犬のふん放置等に対する普及啓発	飼い主へのマナー啓発プレート配布、犬の飼い方セミナー	１１４
路上喫煙対策	路上喫煙禁止区域のパトロール、路上シート作成設置、指定喫煙所維持管理など	１９,７９４

基本方針５　環境を守りはぐくむ人を育てる

（単位：千円）

事業名	事業の内容	経費
目黒区エコプラザ運営管理	環境推進員養成講座、リサイクルショップ、図書貸出しなど	２６,９３０

より詳しい情報を知りたい方のために…

・環境調査報告書

基本方針４で報告した大気・水質などに関する環境調査結果を詳細に掲載した報告書です。２０１８（平成３０）年度版は、１０月頃の発行を予定しています。

WEB トップページ＞行政情報＞統計・調査・報告＞調査・報告＞環境調査報告書

・環境保全施策実施状況一覧表

区の環境保全施策実施状況をまとめたものです。

WEB トップページ＞行政情報＞統計・調査・報告＞調査・報告＞目黒区環境報告書（めぐろの環境）

ご意見・ご感想をお聞かせください

２０１８（平成３０）年度版めぐろの環境（環境報告書）をお読みいただきありがとうございました。

今後の環境報告書づくりの参考にしていきますので、ご意見・ご感想などをお聞かせください。

〔 宛て先 〕目黒区 環境清掃部 環境保全課 環境計画係
電　話：０３－５７２２－９３５６　ＦＡＸ：０３－５７２２－９４０１
Ｅmail：kankyo01@city.meguro.tokyo.jp

２０１８めぐろの環境

（平成３０年度版 環境報告書）

主要印刷物番号
３０－１３号

発 行 日　２０１８（平成３０）年９月発行
発 行 者　目黒区
編集部署　目黒区環境清掃部環境保全課
東京都目黒区上目黒２丁目 19 番 15 号
電話　０３－５７２２－９３５６（直通）
編集協力　株式会社創建